る機関な必要さら、近く民

さに挑ぶしたが、これに難して 度より本格的に移民な地行する

部では揺撃扇な中心さして各職保 部では揺撃扇な中心さして各職保

いては野様の加く神川、資本、郷には一八日連り住木斯に赴くこさに - なほ日本農業移民の土地融組につなった、師ち日本農業移民も設定 なほ日本農業移民の土地融組についてはデリケーが準備さらて民族部勝田穂谷芸長 にこれが農理についてはデリケー

本年度より同公園内に監判職を新 脱し場ら日本監判を民に對する行 脱し場ら日本監判を民に對する行

登記事務取扱延長

實業廳 华撒上野

質業部で準備に着手

招墾局を置して、

斡旋機關を設置

穏督府の手により

ことおける日本林民取扱

日本移民助成の

十四萬明の土地な東亞航戦が主性が、虎林、密山の五駅に取る百四

【ロンドン十六日数國通】ウオル

再開日取纒らず

せいことに体り造影を動に相密が、 地上派とが責任のナスリ合ひかしの解と起す模様であるが、過程の ながら想表派と久原系とは表面完成が大なを聴りて が大なる通常をで意識など表面にかった。 地上派とが責任のナスリ合ひかしの解決を聴りない。 が大なを聴りて が大なを聴りて が大なという。 がたいか、 がたいが、 がたいか、 がたいが、 がたいか、 がたいか、 がたいか、 がたいが、 がたが、 がたいが、 がたが、 がたいが、 がたが、 がたいが、 がたいが、

頻かる運動が突続に出現する關係を清願せんさするが如く

各職を統轄する新設三江省公園で

けさ寧北に着く

運河を開発する。

記

青空士官

0

花

あす開通式を行ふ

米國の所翻渡洋策戦とい

露を厭ふ女

野麥の唄

寧線處女列車

招墾局を設置

こさ、なつた、新伝裳の帳子は左年一月の第七十四菱館に歩り殿正中立の第七十四菱館に歩り殿正中立

メリカ商船隊に對する海軍の保戦國との衝突を避けるため、ア大統領は自己の裁量により突

米代表部さ

る重大變化なりを聽められての機械を現在よりも容易ない。この機械地球策につき薬

日英對立

の無統的な政策を制をは非洋の

米國の海洋政策轉向

英米兩國間の國交に影響

派對立

内紛激化の危機

通常議會を控

信任狀を捧呈

病洲國皇帝御待兼ね

なった

外法権の撤廢 での意見変換の際、この証に験が、軍部にない なて至り、南大使し当日の際 るに至り、南大使し当日の際 れた標際である、略5日本の配合 れた標際である、略5日本の配合 れた標際である、略5日本の配合 では、変更は日満共同院院、窓際出

が外着において祝敬しついねる演 川岡における治外技権脈旋問題は

「はんさもて居り、少なくさもほ下」

は、いの趣きにて、全権大使者低の日本 東部舎官の低については特に御悦の事が会でのでは、新田南大将のでは、新田南大将の

1日 太保館に入る模様で課期されてぬって、英國の保倉提議に続してはこれが、大阪の郷市旅院に割されるに関し三國代表の選が、大阪の郷市旅院に割されるの見様にある二十日を以ていよ~~クリスマで及するは郷跡に詫されるの見様にある。 スクリスマで、英國の保倉提議に続きれるの見様にある、スクリスマで、英國の保倉提議に続きれるの見様にある。 スクリスマで、英國の保倉提議に続きれるの要が、大阪の郷市旅院に割らてはこれが、大阪の郷市旅院に割らてはこれが、大阪の郷市旅院に割らてはこれが、大阪の郷市旅院に割らてはこれが、大阪の郷市旅院に対しては、大阪国の保倉提議に続きれている。

のため派遣

佛大使

を就行多ばな生活

帯びて来たやうである 帯びて来たやうである

時半新泉養、同日直に新機撃記念なるが、同日直に新機撃記念では新任南大縣は二十五日午後二

議會解散氣機

劃期的政界の革

新官僚

洲國における治一振の棕礁より最早監然の時代、れ来つた

南軍司令官

八世六日

送り、終つて直に宮廷府に参内の 説等一行を午前十時費あじあに見 談等一行を午前十時費あじあに見 記事のである。

(東京特電十七日致)

心よ促進の 機運到る

關東州の返還にまで及ばん

對滿國策論議の焦點

より日浦倶樂部に在哈野人多数な一般行機で懸河より来哈、午後六時機が懸河より来哈、午後六時

人田副總裁一行

新年号は

5

日さなる見込みで

經長崎鹿兒島行

大連費芸術への最

公論

同聲明內容

條約廢棄通

告に言及は許さめ

外務當局の要求

表しやう、 學術會 | な搬けてゐるので、 駐佛大使佐羅

特性せ しむる事に決定したが、

鹿見島着 十二月廿二日前十長 崎 着 十二月廿二日正

田来れて英米から飛騨の磯部な得ない機様であるが、出来るなら明日本は機様であるが、出来るなら明日本の機様であるが、出来るなら明日本の機様であるが、出来るなら明日本の機様であるなが、出来るなら明日本のでは、

船大連出張

殿散師に重る地ので、鈴木穂遊に欄らのこ同時に動戦の強膨を行一覧賞脚の久原氏に引着られて総を邀戦の強膨を行一覧賞脚の久原氏に引着られて総を

文三氏〇三中井新京支出 職氏(大島洋行支配人)東ホテル技宿

久原氏の進出には絶對反對してゐ

て傷を求むる結果になる恐れて傷を求むる結果になる恐れ

には先づ幹部の陣客を立て直

黨の行末な心配

ーウファミリカジ

からぎられ

新連裁五大小說 大縣賞幸運の星だりでも出来る館白いやさし 正月らしい美しいボットをあか、美ひをさそる家庭 事代験の掛合はなし、天脈の奇に極明し、その他漫 事代験の掛合はなし、天脈の奇に極明し、その他漫 事代験の掛合はなし、天脈の奇に極明し、その他漫 を表示し、表示に、形形の奇にをいる。 「こと 要来をくるころを知らず。 横光利 野上瀬 英治 白井喬一 林美美子

近江七一 家庭日記 書一日記 四六版 二百二十餘頁 讀む日記

三二十錢

近江八年町五

直接恐行所へ

工業者間に起り、事天側工養湯

北郷諸事物所構内に於いて強戦者 は同日午後一時牡ガ活出版、上りより同所に於いて際通式を行ふべく、大村都長、八田部歌歌の一行く、大村都長、八田部歌歌の一行

廿六日頃公布

0

床

き

は?

【浪速町所見】

東角準線に熱中するさ社人

(コン安全第一」 脚を

李久空前の比較さらて有料の ・武法の蔵を発れぬかも知れ に武法の蔵を発れぬかも知れ のが、参加者の心縁を近に披 を記さして有料の

の態度を保持することは

に猛獣を追ふ時はいやが上に

は単類孤終の島地に見

ーツマン

ふまでもなく各人同志の最も影響

参加者の心得を說く

1

本前海豚扇扇般整官が機動の結果、 一七日午前八時三十分入港の昌平 に天然短患者が使見された、同 がに天然短患者が使見された、同 が

の天然短急者に海移局常局は頑悪が南海にかけて不連續である天然短か行のた。これから天然痘の流響は午前三時半頃から止み後を行つた。これから天然痘の流響は午前三時半頃から止みた。大消毒を行び、また寒船等に継 て居る、撃天観測所では踏る

刀劍鑑賞會

長四尺さ云ふ変刀で、 十條脳の出品あり入場 で順下るさ

めり、就中相州秋廣は目方三音

丸に眞性患者

職の連れ見二歳の巧見當が戦性の乗船の山東省職山賦王家職、尹生

奉天の降雪

職態で奉天皇前は自一色に彩られ

此の監各自の最も無心の注意を促

日

が、去る十一月二十七日幽門蔵兵が、去る十一月二十七日幽門蔵兵

村通することとなり

部部事な際禁した

灰幕洞に反日を標榜する不逞感が脈の入手せる情報によれば、市内

圖們排日會の責任者全光勳ら

憲兵隊に捕はる

南洲国總務職長な食長に

日本社に於ける響像線画の能上の統律を開発を指文を

及日不逞鮮人共匪

に倍加す

けふ初の準備協議會で 締切廿日に繰上げ

の織切目を得たすに來る二十日限り参加申込を締五十名に倍加する狀態となったため、來る廿五日 團長に長谷部少將

氏を終事長に推薦し、本社及後援 推撃するに決した、同將軍は先年村田本武長を副會長に、遠見勇彦 り、陸軍少将長谷郡照督氏を之に 統制上最適任の勇將 方の山野の状勢な無知する人である。 整成の統律上最も適識の選である 賊討伐を行つた重將であり、同吉林地方に於いて部隊を奉ゐて

遺憾ながら像定を率めて申込なメ切るわけである は、それに越したことはないのであるが、満洲に於いて続きないふべき此の儲しの巡行に萬遺憾なきな期する上に於いて続きない。 は、それに越したことはないのであるが、満洲に於いて続級とも 切ること」なった、関より希望者全部の参加が出来れ

満期兵けよ歸還

題物 徳の登

阿久津、中西、長崎各部隊浦朔兵ル十七日登陵道』 瀬〇原部下郷、四部隊 も出設 【テチハ 0000名は十 ハルな出鉄、一路内地に凱旋した 〇國長以下日浦宮民飲送御にチチ 四部隊も出發 だけ十七日午前八時四十分補

所持金全部をカード階級に密附して

るヤク

ザの服毒

不同情

別がした

兒遺の氏川横士烈

部下及川、篠原原都能第二次補助

所持金全部を成末力

さ殊勝な道響を

とからす、最近年ば自業自棄さな・

衛馬之助方山

東に襲奏して楽

律子さん

がほしみ都電トランを観名=は十七日

蒲風の

中で苦悶し枕元

思ひは同じ銃殺指揮官

り間られた花香に掘るれつ り間られた花香に掘るれつ 中式を閉ちた 贈られた男辞郎歌わり、午後三時 聖徳會の施飯

手貫似·足層

似て實演する犯人

人殺し實地檢證

極面を

子桐供米な以て、失数者教祭の一子桐供米な以て、失数者教祭の一子桐供米な以て、失数者教祭の一 脈的整律説明や講話をなすさ、因「質自宅に連行、夫人々のほめに数」を市内楓町一二九番 概さして毎日午前九時より同十一 施破するさ共に教務部に於ては時時迄、午後三時より五時迄の二回 二十二日から開始

シ将軍と劇的對面 ンの中に歌戦あつて戦山漸動より子さんの肩に手をかけ、戦略シー 年の機川氏の面影な偲ぶが知く律 竹雄は馬之助の駅で、棚里が標本生命は取止める機構 郷里の中野

規領夫人經常事代の質地機能は十

病保育會代表が田正人氏の紹介 感慨無顧の性であった、大器士

和人は平利では地に 福性を遺憾なく要様して別ので手演似、足真似で別

金浦各枚送局の放送事務打合會 新年特別放送

大連農業各放送の 6 0

人 然 痘 船 ;

港

相州秋殿の四万

動意で鑑定 田氏服父 地下會出西田

上にも様土変を寄りたいものでかり、自己の苦痛不満な姿勢しなやが、自己の苦痛不満な姿勢し

り腕である。 (他へび自己一人がス と自我能権戦を押し助き傾向があ のという。 も美つて

||遼東ホテル二階

(日八十) 稍風の西北 (晴) く強 毎時一

高級家具の大衆

参慮と弊店設計部の研究に成る事

新かつ合理的なる新製家具多種取合性解例数とて同ります

(尚に室内装飾及び家具の設計見

膜の抑用は無料にて御相談に應じ

配括三八三四者

月 お

大連連鎖街 支 店 バ地、和服コ 新京吉野町一ノ二三奉天江ノ島町千日

X E 各種變りドレス地體富取揃、 お

- Cherry Theory of the Company of the Contract 滿洲日報(廣告部 話四四九一

の歌目に類似地を継げる伝統を辿っ 滿洲國々歌を カナダからも

出迎へませう

一人日午前七時五十分 同上

午前七時五十分

旋の勇士を

ち、既に各國より滿州國の實際國 い」さカナダの 時に新興滿州國に凡ゆる職心を持 は國族がある由 は國族がある由 新京電話 新しく戦生した浦州 関に野じ今や世界の機能は軽々し 照會の手 紙來る

べき暫手の伸び方さいふべきで

しつゝあつた、

全は

をの徳川公使を通じが るるさいふこさである が は 大漢州圏の明日への難 から 精動があったもので で は 東波涛州圏 す 歌の に 世界の 一 で 、 関に 清州圏 す 歌 に 世界の 一 で 、 関に 清州圏 す 歌 に 世界の 一 で 、 関に 清州圏 す 歌 に で に 世界の 続い で は 手 波涛州圏 す 歌 に で に 世界の が い こ さ で ある さ い ふこ さ で ある

がら精動があったもので脱浦大使動では単遠浦洲国々歌の搬港を送 地では単遠浦洲国々歌の搬港を送 地では単遠浦洲国々歌の搬港を送 では、関に横洲国々歌の搬港を送

荷馬夫の墜死

件の謎解かる

水職物の苦が某の證言で過失死中であつたが、同夜深更に至り

・ らしいが叔父宛の遺書には ・ を観し、同夜は媼か際町ごて諦宅

A PIEMINE

大い 年中の -

但し書音者、窓は標には組合規定にて券港十五日より併せて日の丸臓臓脈引附特別の十五日より併せて日の丸臓臓脈引附特別の

北方梅上にさしかゝつた際、同船 二時頃帽山島を去る約一日大連入港の崋山丸が十 窮して投身

レコード

双眼鏡 莨セツト 腕時計

船中枕探し

新品

置時計

灰指

皿輪

寶石 止

意見したさころ極度に 大日朝叔父がその不心 大日朝叔父がその不心

押人の一部を焼い

地域一交争助第(全部子供を整形) は層は後島等上島時代の河番破市の河番破市

藥井達也氏

商店協會主惟一千夏景品付 始末 の御贈答品揃 大連 興田詩 計店



規定にて券進星御容数幅引附特別費出し 蕃音 瓶

浪

速

町

金壹千圓景品附賣出し 開催中

す浪華洋行へ仰付けの程 願ひ上げます 帯仕に萬全を期して居ります 御進物品の御歳末に際しあらゆる點に御滿足を戴けます様

御進物品の御用は…………浪華洋行へ絕對に御信賴の出來る浪華洋行の商品

御贈答用ごして嚴選さ 良 商 品

建設の人々」封切會

離者優待券 (一松)

人お吉」の大歌概な

滿洲日報社

洲

帝國朝勢獨占封切三円

空天國

神楽の大怪十餘本

歌劇「カルメン」

受月良人

賣

開

設

オルガン

四百五十四人。

(御申越、

洲

所

がしているというと言いれていることがは日本ははなりと

紅札の部

三割引

品所

ブラン

パイプオルガン発展

人連市近江町四七(Managaring)

L

00 10 の事」

月 長 曲 木知鉄(パッパ) プラン デン ブル ク

前義曲木

かっていまっていますることである。

承四交響曲

日

會費一般[階下七十錢

讀者 階下五十錢

映樂館にて畫夜三回・目下上映中

※個館正は、未明のうちに、脚 ※個館正は、未明のうちに、脚 を本の難は、明け方にかけて、 を来の難は、明け方にかけて、 を本の難は、明け方にかけて、 を本の難は、明け方にかけて、 を本の難は、明け方にかけて、

誰れがない町娘には

れがなる 松竹蒲田の懸賞

世界集中である 監察集中である を持さ小町銀」に関み左の如く駅 大着さ小町銀」に関み左の如く駅

養谷 網山 會報 員場

封切

ない濡れんには、雪がまる

温つ

につかへる師の君が、嘘を仰し

建設

J

々

同時上映の二大特作映画

兼師子特別田演

阿彌陀時雨

ゆるする

日

れるため、十九日曜りで經濟日延続のお正月映鑑さらて東地に送ら「建設の人々」は大連上映後は沿

べは不可能であり、又称上映も明

受職者を始め一般映画ファルに入るものさ見られてゐ

ンは是非この機會に観賞されたい

杵居艦次郎さお

の一篇一部締

でうに思されない―S― 「無一部婦女子には寄げれる

さ小

前田

梅書臭東片 代 等 盤三田林香

E

雷田電影

田中州疆

と思

れまでの物語りは非常に乗るの相手制み見さ付よくする

「職大郎(職大学職)――も離りな子(衛影公子)校村(日下部章) 子(御影公子)校村(日下部章) 子(御影公子)校村(日下部章)

なく物語りを描いてる

で、 を聞くて後七時流見さなつて、 を聞く午後七時流見さなつてい、 を聞く午後七時流見さなつてたアアンも多数に上つた 東書は「建数の人作「阿彌陀時要プロ 近來 の大作「阿彌陀時要プロ 近來 の大作「阿彌陀時」 コロムピア映画フランク、アーギーは新り できをだった。

てはないかし 存じてるますがし

建設の人

エンケイ

來る十九日限り

その後は沿線で新春公開

映樂館で讀者優待

っなにを笑ふ?」 さこへ、お立ちてごさい

苦行と影問をするのだ」 は既山の座主におなりなされたの そなた、知らののか。お師さま 松山へ登つて

千女 〇コ

変変が、帯屋なのぞいた。 は、思う立つぞ。瞬种や笠の支が断さまのおゆるしが出た。明

ですべからざるものであるから、 それを破つては、座主さして、一 それを破つては、座主さして、一 「でも、だめでございます。まだになるはすがあるものですか」 性養療は、ほんさにしないので かる。山の苦行にたへられるはす もなし、山の輝さいふものは、 もつかないさいふのであ

ボーゴイクン 弟子僧たちは続いて、

では人後に居いてあるきだした。 いに、機から出て、性の損な持つて、ふでした、他の損な持つて、ふでした。 ないがけない 範室が、 はん後に居いてあるきだした。 三人の弟子は、かひがひしく身をかためて、剛奮の供について参 か。一 一間へ説別を告げた。 花治 書作

では、第子僧たちが、止めてゐると、第子僧たちが、止めてゐると、第子僧たちが、止めてゐると、第子僧たちが、止めてゐると、「我可能なしながらも、苦笑をうかべて、「職めてゐた。」
「我はて來て、師の挟なつかまへ

「心られても参ります」 の者や、人室して、中年や一年にしなし、又、様さして、年齢しゆか ろは、御小僧なぞの行け っても、参ります」 「完成ちやない。飲山さいふさ

二月

日

發賣

富士月子

恐化学 線太郎

日井梅雪

木光 太郎 年介

暮湖

(77)

ざこへかくつ

(可認物便數種三等)

登岳

V 流行被数き 大 次 野

山田耕作の傑作を からたちの花 夏三が

牛

箱黄

帝剛九十級取り

でき へるは唄 東海林。波辺光 双手

田

超滿員

記錄破りの

是非見て頂きたい問題の大名は見ましたか、まだですか、一度は

國天空青凝縮

門 樂 映

川の冬

ピムロコ

正月新譜の先陣

益々

好評

傑作揃ひ

ジャズ

ジャズ

九三五年

白八十六日

淡谷の

○八一大四

トオ

建設の

複単メ

即 、! *7!

李天満銀毛等百貨店 選束百貨店コーヒー部 质食 百科

元賣發造製

店支連大店ーヒーコ村木

贈答品賣迪

お正月餅の御用命は 自動車學生募集 淡路町 大連自動車株式會社指定養成所 喜久屋 八〇六 (電話へ九三五) 七

7

歲 暮 二月

クダ毛布、ロシア毛布、毛織物・服、洋服地、ラクダメリヤス、は御贈答品には是非滿葉毛織品を御利用 三十 十 五 日日全上でも

各種メリヤス

大連出張所 * * * * *

伸じせ (聖路心)日本橋薬局

御贈答は是非り NISSHIM SALADOIL 所養す御徳用古い生前を

流行歌 流行歌 流行歌 最寄蓄音器店にて是非御買上願います 0 満の

年末の特別見切責出し

上げなすらずにお贈りのお家様と瀬山ありまで様子、恐臓の主びを乗りまでため恐能成しまして、将角河来店ですいましても 弊常な御紀評で昨日より今日にかけて御廳徐駕事不行曆。 嫌にお仕

いご言うというではいいが

○八一六也 ○八八大七 0元1七00 松平

洲影で

ロスー大き

松平

中野 晃 晃 晴

廿七萬趣に達せん

昨年より五萬五千瓲増

金額にして三百五十萬圓

浦鹽積今

度特產

特產物運賃不振

船腹過多の 近海方面

八旺盛に反し

車も膨く引続りの傾向を帯び、地向豆粕が出態り粉に入るので

なかつた

29

推移しいまであったが

百十八個餘の増加で敷 八百六十八貫、

羅津、清津兩港に

滿洲國稅關

明春設置の鎌定

た職はも、爲に盛況側に終始もた を職はも、爲に盛況側に終始もた を職は、八つた自然の増加の外地場 を職は、八つた自然の増加の外地場

相場を建て、生産種の取引を爲さる を建て、生産者の神経さ微野、相野賞及び交換三「に鬱賞、相野賞及び交換三」

以、三〇キュ入六〇袋、 一四錢、茲糕六〇〇队、 上該:常!

賣物續出に

特

高粱暴落

豆豆高大 油粕梁豆 一一一五

年末期に入つたのさ て 盛 況を至れの就談は左の如く新教出郷りさ 移出入白米 - 一月中大連 並に籾の数量

増加である、輸出自然は常島性高度を表ニニ三四峰、棚三四八六銭各増加、前月に地して非年同期に地しは米三四八六銭各 改善委員會

大連市の中央卸資市場吹著委員會 八日午後開催

◇定期

事を材料に関格は更に騰貴して内 南支の大豆質付成立、奥地の水害 版謝を整然の出動 機の質取引も見送りの一般酸粉を早むた。十 でこの傾向は飲々濃厚 であるが歌による大

脚さな記されて結果、 避繁体 るに 湯湯園の 趣語能事業が るに 湯湯園の 趣語能事業が

就したのであった、然したがら一 運動率は低迷礁版の響に推移する像では終えず神様艦を出す感況を たける輸入職 年級の値下りによる大量取引を見たため、近海方面に於ける輸入職 年級の値下りによる大量取引を見

を発れなかった ※飲料は低光酸版

定期の能を辿り

海標金 卸相場(吐)

現物

罗

十七日一酒 4 3 市内無料配達 (樽詰『室町 室

海為替情報

學 1、4大枚 平八八、1001M 全 1、4大枚 平八八、1001M 全 1、4大枚 平八八、1001M 相

朝鮮物 △氷タイニロ九〇一五、七〇一四〇△タコニ〇一一二△小イカ三〇一二〇△アナゴニ五一一五△アラー七一五△アナゴニ五一一五 一九二四位化

は前の事後は来る十二月廿日第里三重縣阿山郡新居村に於て今朝永眠仕候間此段辱知各位に謹告仕候父事、大郎儀豫而病氣の處養生不相叶 外親戚田田 友猪人之

皮軟梅毒 肾 病 病

島女友男

大都市が行うに対象を対したのでは、大都市が行うには、対象を対した。

集券

○ 京 で か が 成 見 海鸣呀因啡户 治原開始

統制を協議 ロンの輸出 統脈を要望す

> 整複製剤へ輸出 北浦特壁で瀧。

今…不自由なボグ 七萬題に遂する

輸出組合では十三日午後三時一阪十四日黄圃通》日本糸染サ

にも統制を要望

仲立人店舗に

馬棧業者を收容し

家畜診斷所も設置

新装成つた家畜市場

激動が北海特底に情存して**る**る 動り強さな物語る反面。如何に 動り強さな物語る反面。如何に りー観道は元米が非総済

◆…響作線から林密線は東方貨幣をこうで吸收するのみならず。 本的の個みがあ | 宗線の関連式が十

◆自米(單位以入)仁川(袋)二〇、同(以)三二八、撫順一七一一六九八、秦天六四〇、松樹一一六九八、秦天六四〇、松樹一一六九八、秦下六四〇、松樹一一五〇、新京一〇〇、北陽五九、田東三、合計四一四六三◆日

地場蝦の

豊漁で

白萬貫突破

十一月中大連魚市場取引高

創設以來の記錄

(中立人店舗な設置し現在談可さ 取引せしめること、なり、又別

本年度の東行 をしまってが映示。 をしまってが映示。 大混保(袋) ◇現物

地株弱含み

木米 大連與富里六六 大連與富里六六

五〇四一五〇

定期 二〇 二三〇五 二萬五千枚 二萬五千枚 一萬箱 一二五二〇 三五二〇

状を辿つた 状を辿つた 状を辿つた 状を辿った が上げる。 でいる。 でい。 でいる。 でい

五七三四〇枚枚枚枚

綿糸布院り

麻袋弱保合

勉當六十町與市建大

神の爲全般に上向商物多数上場、相場は 100名を 100名を

の松尾商店

二十六百五十錢位

質屋のお利用は第九博夏

西広場 親切第 貸出思ひ切り 是非とも御利用順ます 第九博多屋 七六七四番

皮屬病 済生医

胜 病

尾 自

1200

七萬八千戦の現有勢力権特を確認 七萬八千戦の現存を引き、日本海戦は徹水艦につき

に大戦、日下

新機構實施を前に

近し州外き州殿に跳れる

開東職では十

、東京よりの回職により更一般の網果出来上つた全くの

御城家に献き

試案の

筋肉を支配するであらう 共同宣言と

米國代表部態度

安開通] 建佛會

此が認念機能を行った

倫敦會商

わが軍備均等原則の確認

両陛下に拜謁 赴任に先だち

なつたゝめ、

般の情勢は戦

北鐵交渉に

しも好影響

けられ極々有難き同言葉を暖所に於て天皇陛下に拜謁保付 時三十分宮中に参内表御謁見 横き楠の間に進み皇后陸

逐日出京す

州外勤務者の

主職さされ、不便下らも世下地橋 延いては慰経に終野するので配る 近いては思経に終野するので配る

| 「東京特體十七日盤」南隅東軍部 | 本置き軍事を經濟との休行的資本 | 郷的觀進を見るべく期待されても | 成立の段階に建しなかった同交後 | 東京特體十七日盤 | 南隅東軍部 | 本置き軍事を經濟との休行的資本 | 郷的觀進を見るべく期待されても | 成立の段階に建しなかった同交後 今明日中に新京 100mm よべく観測され継来版々の陰歌で ・ 100mm という。 ・ 100 關東廳官房秘書課

間に打合せが進められてゐる 園公訪問

新伝の探測を述べるさ

144

機關々係勅令

十六七日ごろ公布實施

對滿策懇談

る、自覚整點日宮中で林陸坦八熊の多駅に上るため 手積其公

令官の新方針を中心として答辯説明を與く密し意識する監なして樂観してゐるを取られて歌歌にから、文明を有利に導き間違に有力なる情報に使いてある。のでして大分類を強くしてゐる指標、在滿機構改革が鬼るために現内際の強さまで責はれた滿洲問題が正反長岡隆一郎氏らの首腦部の人事が比較的に好評なるため一時は現内際の強さまで責はれた滿洲問題が正反長岡隆一郎氏らの首腦部の人事が比較的に好評なるため一時は現内際の強さまで責はれた滿洲問題が正反長岡隆一郎氏らの首腦部の人事が比較的に好評なるため一時は現内際の強さまで責はれた滿洲問題が正反長岡隆一郎氏らの首腦部の人事が比較的に対於大人で表した。の選びとなり殊に神に強於な数を殺き得意的でして大分類を強くして各種説明を與く密し意識なるために関われた。以及射に一切の一般に対して一般に要ない。 南大将晚餐會 『東京十七年の官舎を支給したる上、別途之

月

議會の論難ある時は

南軍司令官の新方針で説明

政府大い

に樂觀

す

の鳥波響をつけて見て喰ったなければならの場合でもほん

されば支那料理などテ

ていための

にせの方針で、

実施なざけ虚

商家意味したものでないさ日

☆…一寸側をあげて見るさ

学三年生の時以來二十數年 既は外國艦人の例に倣って

た中心さし時局臓に花を吹かせ午

阪谷總務次長

民情、經濟を視察

解家は先づ種ららい る戯の松井敏生氏の

滿洲問題·間接に政府補强

内田洋行 大連·幸天。

交書課長で且つ同社々版館院

Pに作った私間が細な神か

へ行つて髪を刈らすだけ、

がらせなければ洗ひしさせ

そのまゝ自答へ歌つて自

世にも

潔

癖

抵制の作えたコップの影観を て居る時でも、松井さんは大 が甘さうに飲み且つパクつい

十六日山本条太郎、久原院之時、

主介の諸氏な訪問挨拶なす

大將會懇談

白に含んで演まし

て問題外でいふわけて、情

松井敏生氏

てある。

放々近く東京 大使に低齢せ うまらるべく日下駐浦大使館浦州 とての国産郷を武は二十七日頃即 さになった 低の途に載くこ

國書捧呈は 來る二十

「新京電話」新田県 湖東 であった は 在 端那人 並のに 端洲 関三子 萬民 で 一十七日午前十時宮廷に 参入関係の で で かなす 音中 七日 野坂になった

南大將の新京着

二十四五日の豫定 上げ老公のこれに對する御意見 とあざらんここを期してゐる次 もあざらんここを期してゐる次

七日 飲販館公で機しする遊な展表

成されるさ見られてゐる 農林提出法案

通常議會に提表する法案の立案準

正案、米穀統制法中改正案、輸管統制法律案、産業組合法中改長を行ってあるが、その航は十件餘でといるのが、その航は十件餘で

東京十七日養國通 来議會に建 東の提出する防空法案は建軍省内 共に 職力 で特別委員會を開催、成彩を持た 一世にして で夫々新 が、東京と送半載会を一世にして で夫々新 が、東京と送半載会を一世にして で夫々新 が、東京と送半載会を一世にして で夫々新 が、東京と送半載会を一世にして で夫々新 が、東京と送半載会を一世にして で夫々新 が、東京と が、東京と を記し、その内容は各地でなした ・ 東京

杨會議出席

田村忠一氏赴任《安東

た東京、ワシントンの瞬間政府にした。これに野して日本それと 大石橋へ 上 大石橋へ 自答をやつてゐる 「中立権の行使」 中著あどあにて 側が何事か自 の大

表に解述するもので

ので英國政府さしては何さか共 だも共通最大限度を設定すれば佛

本の要求承職には難色あり、

新娛樂讀物の王座篇丸東京東京

さ云はれる、右和協武家に難し米に安協武家の苦心がひそんである

部が全然質地表でないい

同代表部は未だ贅徳な

出機器の立場から たさいふのだる こへ出験じ

特別會計の編成 部策策率の極成 くされてぬるので、鑑賞、通信特通」大概省議計 れば一千八百萬間の減額を除儀な 例年より却つて容易 ☆・御歌人勝みに象がひけるさ見え「鯉の郷鮮に網修た

興味百萬

井石

防空法案成る て新京書、他形法、再安、東京、 東京書報報報の「「大日報行機に 東部線沿線の民情義察並びにある東部線沿線の民情義察職次長は北

陸軍委員會で

八田滿鐵副總裁

構想の雄大、探偵

的興味の深刻さは

の墨を摩し而も漆

ユーゴー・ルブラン

て夫々新京に向った 索景清中將 【安東電話】

【 安全

ナ。面僧い程面白い

紀行文的興趣を点

栗毛にも匹敵する

下巻發音は影

かの

の中にあるらしいねエ

十七日午前十一時過安時任とたった財政部開稅科長水井哲夫氏はつた財政部開稅科長水井哲夫氏はつた財政部開稅科長、「安東省水井哲夫氏は **千歲丸** 十八日午前十二時 入港

相に對する總裁の親任式が戦行される智である他準備の都合上之が公布實施は二十六

の都合上之が公布實施は二十六、七日頃になる見込みであ一般教室に二十二日櫃府臨時議會で可決な見る等であるが職像報会回十

同時に總裁親任式

まま古秋駅後三層代表は 水脈を得るため誘調であわけて

から今後は他国の開戦の場合うつとであった答▲しか」の
「大統領に関する」とであった答▲しか」の
「大統領に関する」と
「大統領

第一通告問題 完全に一致

◎大衆文墓の粹

稀代の名著文 果然文部省推薦 章讀 全國中等學校必須の讀本 本

ニシアチザル野へて散表される

本當に面白く

運惠方の福運小説!! 花も實もある深切な作品 素敵に縁起のい」開

つて

き)それから次に現後の取人が順をさるの必要、かういふお歌れに は着子の取人が極々なる意味に於いて古むる位 は着子の取人が極々なる意味に於いて古いなのであります、現在考へて ででは、順東原の下において古むる位 は着子の取人が極々なる意味に於いておいなるであった。

金森政府委員(答願つい

關東局武官の地位

大藏男の質問と金森長官答辯

新機構の職能檢討

佐つて意味が鑑ふのであります 時を場合さいふよりも、其の人に いた。 時を場合に使って意味が……

大に戦の対法に悪が脱れることになって居 かるさうであるが、それは合せて完 かるさうであるが、それは合せて完 かったやうに存じます。で先づ事様 つたやうに存じます。で先づ事様 であったがら説明しますが、脱支局に は大性官房の外に三つの都を置く は大性官房の外に三つの都を置く は大性官房の外に三つの都を置く

それから次に比軍の参謀長と鵬東

川越次長により

年度に比し約八百五十萬個の増加千四百四十一萬六千國に上り、前

經濟問題を解決 滿洲國當局は期待

を知賞に現してゐる(單位子園) 輸出品 累計 三三、五〇九 三四〇、一四七 再輸出品 二三、八八五 二、四三五 二三、八八五 十三五、九四五 三六四、〇三〇 十三五、九四五 三六四、〇三〇 輸入品 累計 四八、四七〇 四七六、一六〇

を示し、満洲國の経済建設の進展

● 入組造 果 計 一二、五二五 一二、二三四

それ自體の價値を考案すれば、 もれ自體の價値を考案すれば、 をいかで、その中本位貨幣

国際民の誘
 「大田郡民の誘
 「大田郡民の誘
 「大田民が新編な組織されるこか。
 「大田民が新編な組織されるこか。
 「大田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民の誘
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織されるこか。
 「本田民が新編な組織を行る中の行動
 「本田民が新編な組織を行る。
 「本田民が新編な組織を行る。
 「本田民が新編な組織を行る。
 「本田民が新編な出る。
 「本田民が新編な出る。
 「本田民が新編な出る。
 「本田民が新典では、
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田に行動でする数が出現在の所名。
 「本田民が解析なる。
 「本田に行動でする数がも国家を持たて成本のでる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が解析なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。
 「本田民が経験なる。

中の全浦外國貿易は輸出入合計八

八億四千餘萬圓

どめで陸京十七日午前十時間東戦と大城間中の菱城大綱は十六日のめ大城間中の菱城大綱は十六日のめ 滿洲國外國貿易

離滿挨拶 司会部に登職、東幕隊、火で大使 に際上大食堂に於て送影響を整っ に際上大食堂に於て送影響を整っ に際上大食堂に於て送影響を整っ た、なほ変が大粉は十八日間島方 た、なほ変が大粉は十八日間島方

れ、民度の低い大衆取引

では、大田社の大学を主教を表示されて、他ニャニエフ氏は未熟中の配米大田田ツウエート大使館に午餐館に一年を設定して十七日ツウエート大使館に午餐館に「ツウエート大使館が一般に「大学館」の総問題につき午餐を記述されて、大田社の一大大使館が一般である。

日本一子薫園、中側六百萬園、 ドイツ四百八十年園、英調二百八八十萬園、朝鮮二百四十萬園、 日本三千百萬園、中側五百二十 萬園、英領印度二百四十萬園、 朝鮮百九十九萬園、北米百萬園 叙從七位(各通) 関東應辭令 草野友次郎

本年一月以降十月迄の累計

任座順工科大學助手 同情週間寄附 柳崎亮太郎

、サアテルモー科ー、オリンの入科理學電療専門の治療院生る

Ex種類が多いので其前氧に適合する電氣を技術を以電療器術とは如何なるものか

鐵道試驗。

品質升目確實 配達迅速

第二二二〇〇章

連鎖街の問屋大島屋へ

白米變動相場

のるさいふやうな事は、問題外の

Tasto

知多中島名畫

9

一合機・一・五〇

A

11.五〇世45

9

本各地名産

: 致

the

をは難に申しましたやうに、満州 を設けやうさ高に出来る部であります。それから第三は監理部の を変をかする為に出てる部であり たるながである。は出来る部であり ます、それから第三は監理部のであり なって居ります。此監理部のであり なって居ります。此監理部のであります。

古月経 三八八

助 三月展 二一七〇二〇 Joy of

界各國

酒類

食料品

七貫函詰

鹽數の子ぶき 樽詰は品切中の處近日着荷新鮮美味安價徳用、小賣最適品

北海道滿蒙貿易協會

初穂料の使途 0 の家庭へ照たれる大河畔の御里

◆駅中の底の新に各参區に塊たれる機営大麻(大線宮橋のお札) を機営大麻(大線宮橋のお札) を機営大麻(大線宮橋のお札) を開営大麻(大線宮橋のお札) すので英意義については充分 御線線の事さ思ひ本年はこれを 着きました庭窓外な御説が出ま なに既存されて居る服飾であり まは飲べの氏純機の練験の手を まて各楽館へ、又町村の寄年職 を食いないの氏純機の練験の手を まな食いないである方法で各家館へ まないである方法で各家館へ 庭へ或はお役の見

題な、一層の熱意な以て研究解 ・ 大すべきださ思ふ。

(版內市) (二)

一問題

補助貨幣統

社

說

住外人の非常に苦痛さする所な た片手簿の不便不利の如きは在

々機ならしめる餘弊の大なるか

であるのみでなく

日液経済状制問題上、脚語

日海統制の様本な機能される師

審議に誠意なくば

斷乎議會解散

岡田首相の時局談

| 京菱朝戦総曲渡浦の念についたが| 京菱朝戦総曲渡浦の念についたが

菱刈大將

の事業さしては満洲連載会の事業さしても輸動が之れに監 であるが受けて真に奉仕しては満洲連載会の事 を着が受けて真に奉仕しては、 を表が受けて真に奉仕しては、 を表が受けて真に奉仕して、 を表が受けて真に奉仕して、 を表が受けて真にを検め

○ したので驚いた火蛇です。 ○ 一般に大麻の一般に日本園民が鑑 大家庭の神機に之な事安して競 神の御機能を仰き事る島めに軍 年伊勢神宮から日本金園の家庭 年伊勢神宮から日本金園の家庭 はもさより新鉄、満洲、礁太大。

別上げの無機へによる見越し輸入 ユ大使午餐會

三 国五十 囲まで各種 関格は百八十 圏から

ン・ツー

電話三七一五、 着一月六日 ガスーロー

休みは 上海

二上於還吉

な青春

後場市況(十七日)

| 大連發 | 月二日 | 八年 | 一年 | 一年 |

天国際リンク開き

東邊道資源開發に

いが、わが戦史に依れば二名な

石三十八年夏ハルビンで**教** を解くべき資料が野見され ものが何故三名かについて

感はれてゐた、後の一種

(高真説明、軍法會議後刑場に ・ その右向後上等兵、その右向後上等兵、そ

菅原曹長等 記念碑を建立

作給の

一部を

東北凶作地へ

田會に於ける自豪が 配ひ出でた、小井海

いるのはな

瓦房店警察署の美墨

聯合婦人會も贈る

【五房店】近時在浦邦人の増加に

ス運轉開始

大洋河は當分徒渉連絡

放街二三粁、紅族街一龍王喇二 たので市最名な以て作 一、料金 一、料金 一、料金 ・なつたが之が喪物認 ・なったがこが喪物認 ・なったがこが喪物認 ・なったがこが喪物認

十八面四角五分な出しるる、 配し

居戦、北

意氣込む安東官民

月末調查隊出發

やく験工したので、い のドン底にある鎌の帯な同臓に對一つた のドン底にある鎌の帯な同臓に對一つた

開始したが運行時越及

満洲國側に聯携

歳末を護る

大石橋署の歳末警戒

學用品と見舞金 海城小學兒童の美典

等制造的自動的自動の成



-一月分收支

九三九八八八九三四、九三九八八八九三四、九七二四九三三三三五五五

して右收支の類別を示せば

詳總督府製造

由于八国二周語 国二周的 町川谷長城京 社会式株別質元精建

沿線に

無電臺を新設 十萬圓で着工

要あるに鑑み銀路機局では別後二回路職には電信、電話しない鉄地の地でも完全に蝦路局との連びを付出されば電信、電話しない鉄地の地でも完全に蝦路局との連び外を海に取り自動車線が乗られ、関無電完成の地には如何なる

た日本天高等女際校議堂に於 協力して全力を注ぐこさゝなりを大日本天高等女際校議堂に於 協力して全力を注ぐこさゝなりを大日本天高等女際校議堂に於 協力して全力を注ぐこさゝなりを

日滿教育聯合會

十三日奉天で發音式

輸出税免除で 材木界活

警日系叙述を同時に製行すること 一般態製造の除を売し甲田教師は試した 業堂に於て武道大会が開催された 一部氏の終拠にて大会に入り膨砂 木舎 に十六日午後一時から蟹日小壁桜 の開館の静大いて機能会提松木號 その ・ 大田本後一時から蟹日小壁桜 の開館を開かました 美石油

大會競よりの数品機奥な気し用金 大會競よりの数品機奥な気しに乗する。 大有機は管に乗ましい機りで幾十 その試合のつて機勝為には夫々機 大會競よりの数品機奥な気し用金

歳末、温い人の情け

奉天に聞く二つの美談

營口武道大會

(可認物便郵稱三條)

具重な古

本發見

明治三十八年發行の露文戰史

遺骨の疑問も解ける

等の最後を語る

東東 子林総にWみ扱いた安東 画的な登風が期待されるさ共に ては愛林思校 大東に輸出株理談さ共に株本の るに配始的年 東東 子林総にWみ扱いた安東 出材設備擴 、事態育は其の存立を動 によって保水策をも進め によって保水策をも進め である村民に難り 光を計る

松評霊についても其の事を進め苗の機臓に変し一方代称に並行する機

く期める身を大西港

身さなり店を追ばれて街

た二家庭……山口쀖生れ幸勝人(二人寿)ちを鑑かい人の同憾によつて数はれ に出たもら鑑かい人の同憾によつて数はれ に出たも

人の結婚を聞き

をは来る二十日午後一時より消滅した。 をは来る二十日午後一時より消滅 社蔵は樂部に於て開き後来の各小 社蔵は樂部に於て開き後来の各小 が、社蔵は樂部に於て開き後来の各小

營口婦人團

設立を嘆願 農窮民施粥所

今年奉天の小賣値段

日語教授の會費を

東北の同胞へ贈る

吉林日語研究會

同情と海給のうちから毎月五回づ この悲惨なる家庭な月口調査の折 天の郎相 暮れを飾る蜜柑

> 内部の椅子配列等も大量に数 たが尚最初の定規省長以下

漸く整備

問島省公署

の冷害の悲

月寅まで横町栗粋理店の帳場さ 又佐賀職生れ高柳賞(a)も本年 て触いてゐたがふさした事から解し起が一面五十銭見然で用頭まで棚町架料理店の帳場さし一時には三、四割の利な て店職に飾られるのに、トラウ 百四十貨車位を消化されたが今六〇節位)四個四十銭で昨年度

起りを見せ今を盛り、本場紀州か 一プレは満線室相貨車…」 繁相増…」が奉天を訪れる の山、山之山…「アレは つて経々活腰を掘め撫眠を掘め院、最を栽伝せる新科展もるる実に満洲地質りを始め金鰉師に馬、て、尚三名の艘銭あり、當分二集庫』満洲炭栗に需要胂入りさ、六名、内地人九名、都合二十名 支出臨時部 九六、六〇〇、〇〇 関原補助金 二五、八三三、〇〇 株 一二、五七八、一九 株 一二、五七八、一九 貨車廻入不調 撫順炭輸送の

人石橋鄉軍總會

人館設立の住町を代も年度東分館に大石橋一大石橋一大石橋一大石橋一大石橋一大石橋一大石橋一大石橋一大石橋 非常時郷軍の土氣宣揚

會を開催したが、本年は會場其 **石榴小學校講堂に於て** することになったが事態機切りは、 思想機能に努めてぬるが同職では 悪態機能に努めてぬるが同職では













のれ物を被抗しなる情報 工人社

正斯の指では、その最高部の

底磨きの鍋でも

熱の損はない

か 大切でせう。このごろはタリスマ つまでも役に立つ戦用能な品を選 変が 大切でせう。このごろはタリスマ つまでも役に立つ戦用能な品を選 が 大切でせう。このごろはタリスマ つまでも役に立つ戦用能な品を選 が 大切でせう。このごろはタリスマ つまでも役に立つ戦用能な品を選 ば 大切でせう。このごろはタリスマ つまでも役に立つ戦用能な品を選 選 と

一家のお婚がそのため

のしきたりなので、お歳事には根

たのある御家庭でしたら、レッキスの贈り物か遊れて、お子さんが

『殿一事員の救護慰安の為に、『海族、あるひは其他の警備屋

これらの保候取人や、戦死者

から、公園館に編人の愛の手を伸ってしていたといいる希望

少料像の協力を得て

明によって熱な解へるのです

本義に立歸れ!

國防婦人會大連支部

挑戦すべきでせう。 製作まかせに やることも必要なこさです。 彩めるさころのあるやうな暗物は せず、主人自ら将機相手になつて

村井大連神明高女校長談

何時までも役立っ

早々数を式をあげる環定にまで漕

申込めばよい。

さうです。因に食

モスクワではそ

パトラー及びブーショウの「シーザ

シエーク

スピア書

直さる

1213 113

\$

實用品を選べ

大連領生高等今西つねの氏談

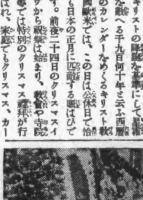
各方面の意見を聽

心の表はれてあり、目下の着へなが、つまり、目上の着へは膨齢のいるす。本義さいふさ難らいと思います。本義さいふさ難らい

何を選ぶべきか!?

な戦へる干九百何十年と云ふ西職 キリストの斡賊な基準にもて足験 リスマス・ケーキも影象が好い。 を終へる干九百何十年と云ふ西殿 のカレンダーなめくるキリスト教 のカレンダーなめくるキリスト教 を終へる干九百何十年と云ふ西殿 はひでは、この日は公休日で恰

する前後二十四日のクリスマスを乗が行いる職祭は揺まり、戦館や寺院





からやるさいふのでは、

欧状態に進展してしまった事は皆

歲暮

て、どちらても頂いて戻って迷惑して、貯蔵には脚へてもあまり月並んでおかれるやうにして頂きたい かさいつて、お手機に酸品数な酸されることが多いものです。まう

おりません。本本から云へば、「株です。 語の彩感では鬱黙に避けなけれ、味のこもつた野物を選ばれゝば結った、前後いろ~~な。 はすですから、御様臓の上で、慢は、壁に本年の絵像 生すると る自場的な分解作用によって

は、院に大半の役員を定め、東都、内の事務所に口願、或はハガキで同時が人会大連支部設立について「大連市役所三階の大連防護職本部 來春早々發會式 銃後のオール女性を動員 て、希陽會は感慨的に動立した身

放を失ったが、総し、これによっ 香場会は前後十餘人の会員、会長と紛極の大きく、且つ永びい

理が、要認

和の近代美術館建設問

美術館建設

か見せた。

を共同版にで作したが、 この管理に繋がかけ、管理 ・ナリストが中心になつ ・ナリストが中心になつ ・カリストが中心になっ ・カリストが中心になっ

たちの中に、まっさに無の帯な境

家庭 アセモの跡 大きな禿にな つて見苦しい 消海 息外

・ では、小豆大から一銭銀貨大の形はのため今年の裏フェモの寄りが歌山に出来、そのあさかハゲになり、小豆大から一銭銀貨大の形になり、小豆大から一銭銀貨大の形になり、小豆大から一銭銀貨、 ♀呼鳴するさしたらざの位の費用機でもしたら 治らないでせうか がからるでせうか?(乾燥・実す

たのには老は生えて来るせん。 表だ小さいお子さんですから一 くとも治りませう た。 影検は磁つて「アナラの話」にな

の底勝きもの四分四十秒

皮膚など移植しな

、醫學博士 Z氏、の

話

1

大つび

アウ煙筒のやうに

き手にさって、

とすし、館内の換集装置の方が先だつて、客の燃車なさやかくいふ 光曜年によ。 作行談特者の無確ツにさかな

「アチラの豚」には、さうした腕なものではないのだが、N氏の

つた気備さだかられ。大連なんか

中来、この洋行機さいかものは 柄 辩 料 顔 粉 沁 ア

端的に表現するクールクリー 近代女性の要求する明朝美を め自然に地肌を白く美しく何醇恋も若々しく聞く観夕の粧ひにサラット快い動ヤケを助ぎアレを止

ブニング 本舖東京中公田端豐香 製品は輝く

国浪越

知名楽店・大百世店美品部にて販賣連封票(皮下)・絵明・粉束の三線 初老期衰憊等

唐澤醫院

を知り、 シ で頭痛を起れる

本 電話九級(33) 外に強料 親世流改訂本刊行會

一回配

一時,金四十回 (一篇 · 三) 製 特價 一時排金五十圓 外に送利

公司班 金四十六国 金五十二圓 特 ·定價 会 五十八 圖

·定價

今故に喋喋するまでもない周知の事實であります。この 主 ます。今後も、これ以上の諸本の出版は到底不可能と信じ、に亙る前附の完備と、全意書下し、黒朱二色刷の豪華であり を飽くまで徹底させるために、「昭和決定版」の豫約を開始 します。本文の用字、節附、諡ひ方注意、拍子を始め、十二 収て、決定版と稱する所以であります。 ・全四十三巻・二十回配本▲ もない周知の事實であります。復刊行會のかくして、常に斯界議本の権威たるは、

よのが、賃刊

悪筋を避したのは奇様な行動に 東杉仏樂部が、突如さして別像 東杉仏樂部が、突如さして別像

るさ一般集業場所に多く見られまってみまります。

で飲か歩き、これさ思

ら、感動なさるだけでも大

ます。大連市内において 年中行事の一になり てが、我興も近年盛んにこの戦怒

お歳事は二十五日以後になさるべ

きるのでせうけれざ、

(四)

マス

祝祭日

歴史 戦戦の中によれて

市内各所の催しもの

たつる。じて思ひくくの願ひたかい釈実が催され、蠟燭や鱸や人形

然ホテルやレストランで行はれま

いつて、自分から戦止しようされば未だ。お歳事が遺職だから

なの動な臭かせるのです。 都会で

ーを中心に家族友人和無難々の中

美術界の

教授学の非比喩的な最初な板性のス杉仏学部の態度は残くさら日本なりを表示しまって、この遺跡の態度は残くさら日本ない。

にでもなさつてはいかどでせ

製研究室主任カザリ 加州大學の賞職連続 加州大学の賞職連続 を遺傳研究の實験 るこさが米国 選げ続いこさな切實に感じさは、作家の手によつては難感

ペーアス教授は 新明語分

されるさ思まれ、 電のでゐる。此の配 では、態態及の機能の 郷を数手匹飼養して

一九大日本雄

大番町二四其社、價卅錢報(十二月號)數行所東

を されの配成関係はすでに 積極 かるかに見える。そもて そのと は 機能に 企識されるかのいづれがだ で は ない は は は ない は ない

上 性は、すべて深葉肺に強速してる ル 性は、すべて深葉肺に強速してる

のエデン

来方面に貢献するさ

頭痛で

最初の文具店で お求め下さい

外科院科 X 整形外科

神經衰弱 生殖器障害

の方法を以て抽出し、 日七しめたる聯合ホルモ 最も施設せるホルモン星数に立

して、日に多数博士の管 大きべの動作用なく治療が

クールコールドクリー

W. W. W. W. C. L. C.

(通應症) (男子用·女子用共)

生殖器發育不全

機関である。

新州級各處 青 株 式 a 社

女子用

○・網に称る取所的のでをして、 を設置になつてるます。 を設置になってるます。

大の徹方では現大の方が比較に 大の徹方では現大の方が細かに配置であるが

きのお鍋でも大して熱を買けること、大層達ひますから、瓦斯の焰では底みが瓦斯の熱は、その傷り方が木炭の熱とは

木炭熱と違ふ瓦斯熱 ならの飛送を戦争を は瓦斯の解は戦争無放出の戦が ゆないからです。 や…戦をさるための瓦斯ストーア では、艦の熱を戦争無放出の戦が

◆一線度好きの保証人方は尾野な ・ 線度好きの保証人方は尾野な 用ひる場合は緩緩の庭な加何に 悪いても差支へわりませんが、 悪いても差支へわりませんが、 では、場合は緩緩の庭な加何に

文献無代進星

大連。日本實際株式會此、東天、銀本頭局

號七百三萬

〇〇〇八を十六 〇〇〇八を十六 〇〇一二か 二〇分) 〇〇二二四れ 四 〇一二八前上 か

(東京とり)ラデオ機嫌

幸促

スに比べて

日八十

同原回語のコイルの抱款な一時のボビンなか解りませ 一時のボビンなら十回程 で使用出来ます。(電々

定的て内服無は如何なる物も最去の重要代謝病の治療法中豊郎直接療法の理想は

ケンゴールの外に望み難し

無力內服薬・粉末坐薬の難點

四段標井五樂坊

ラデオ機様(満語)

京(MTCKY)

₩₩(調)

春とロンデン相談

ラヂオ

の交換に就て

CAXINO) DYIM

長院病原吉廓遊原吉京東前

生先 築

淋病の强力殺菌は

本劑は一般の注入準とは劉毅の根本を興にし用量表が機関の・五元万至の・七元の尿道へと強布する程度の安全量で足り而も全量は僅々二分足らずて尿道粘膜薬部へ強を全量は僅々二分足らずて尿道粘膜薬部へ神・気を動き、一般、大変菌作用を顕すので自密治療が一般洗滌薬の発動に、不要で、本剤は深達殺菌消炎收飲等治淋の四大理想を凡ゆる觀點より最も安全且最初を見ゆる觀點より最も安全且最初を見ゆる觀點より最も安全且最初を見ゆる觀點より最も安全且最初を見ゆる觀點より最も安全且最初を見ゆる觀點より最も安全且最初を見かる。

ニュース、職業紹介事

大阪より)英語講座

「海峰にダン(海島南郊する獨自の强力作用は本剤普及薬にて十分實験にに必らず驚嘆するであらう

本劑は絕對安全

凡ゆる観點より萬全を期す

本別は淋病治療の最理想たる治療型本別は淋病治療の最理想を溶解排泄し で係を理解を関係を溶解排泄し を発展を溶解が進し

淋病治療の最短縮

普及品

一元九〇

新發賣

(東京より)ラデオ機欒

今日のプログ

物語一巨人衛」山口

「 機CID」文庫簿士石 の際より) 雅典 訓養

城(JOOKE)

威 権 2 界 新 英推験實士博館十五

(可認物使罪得三條)

ーの戦勝決準

スケーチン

からた成職な事げ得たさは ぶんにか、その網果におい

短時日に淋疾治癒するが故なり 第一番も是等で死滅しないプラオンギン・サーコールによる治療が極めて低ケンゴールによる治療が極めて低いのよると思りて粘膜内や腹球内の表面

人(約十七日香)十一門人(約1十五日香)七一門人(約1十五日香)七一門人(約十七日香)七二門人十緒

がかない業で最初を待たないて まに置ぎる淋疾は分秒を待たないて が関係を表示する質量が過去業用し は淋漓が同十度の数で充満する質量が過去業用し は淋漓が同十度の数で充満する質量が過去業用し

水溶液の合理的薬剤にして 事實である本剤は腎薬界最 高のメデナンカンフル濃厚 事のメデナンカンフル濃厚 路由縣

建設的 建設 建設 等 支 党 肺精核 京都帝国大学·後藤博士創製

特に 微量 で直ちに速かに組縄底部へ深遠特に 微量 で直ちに速かに組縄底部へ深遠性臓がある。 之間上必要な飲味を長時間繋がる大映監がある。 之間上必要な飲味を長時間繋がる大映監がある。 之間上必要な飲味を長時間繋がる大映監がある。 之間上必要な飲味を長時間繋がる大映監がある。 之間上必要な飲味を長時間繋がる大映監がある。 之間に 微量 で直ちに速かに組縄底部へ深遠

の特色は弦に於ても断然勝利を占

本劑になる

治療費の

經濟化

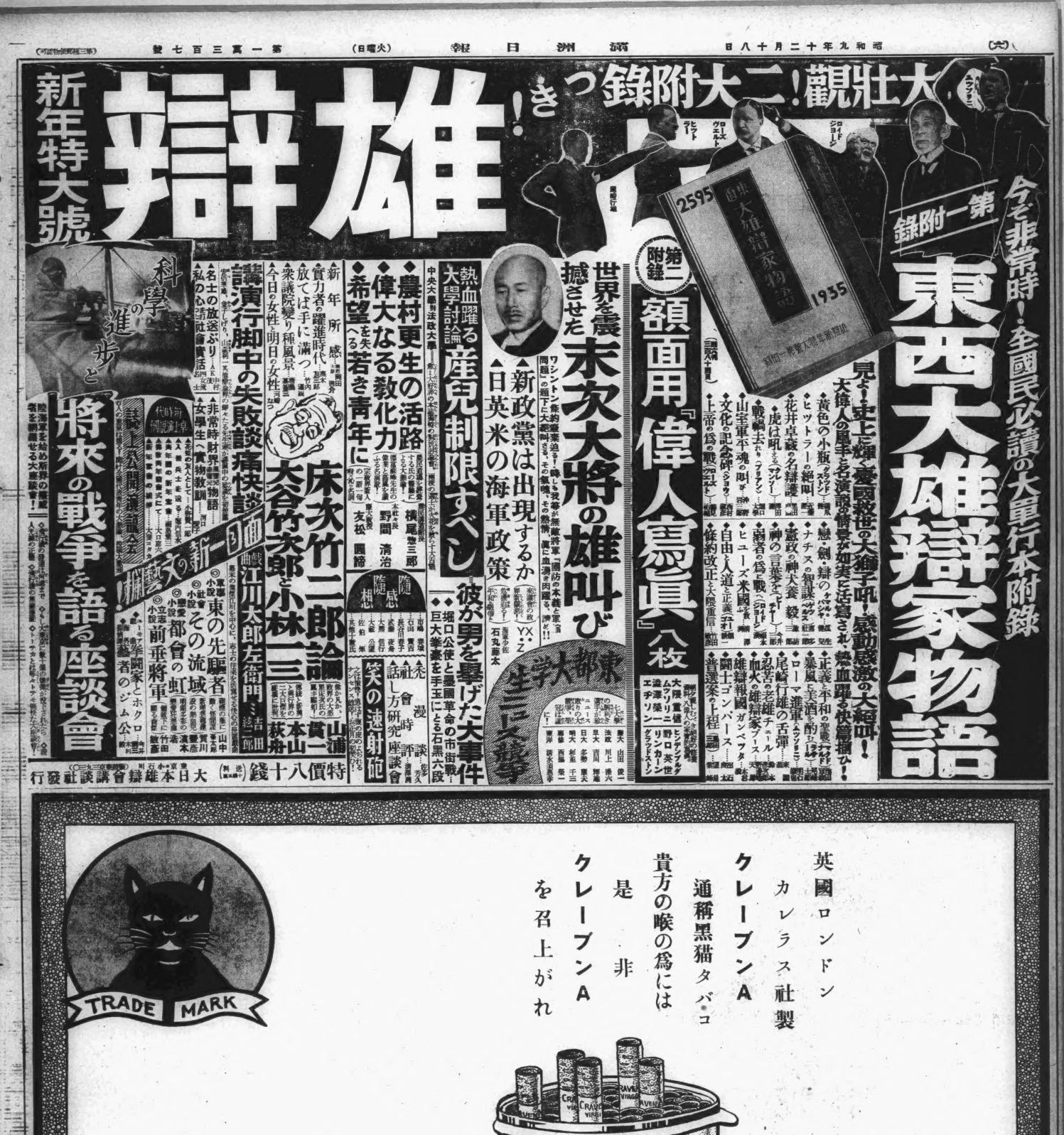
店商由藤伊設元豐設

店商邱三元邊田 註 店場代期間 (三大大人-東京教師) 『木編稿本日本京京



無代送呈新非道 由口學士者結核療養法





CORK TIPPED

CORK

トに命じてこれが親上げを念が 感泣してゐる

大学院職から午後七時半度が列車 作りしてトラック七歌で報出し、 作りしてトラック七歌で報出し、

衣類を御下賜遊ばさる

大大が野泉貨幣級に観察しては「大数はおしつまつた十二月二十年人が野泉貨幣級に観察しては「大数はおしつまつた十二月二十年人が野泉貨幣級に観察しても「大数はおしつまつた十二月二十年人が野泉貨幣級に観察しても

阿片の密輸

英國製高級煙苗

東北の幼兒一萬六千に ルな入れて公部を五巻に続め、計修章したが、右フキルムはタイト

Ξ

百

特産出廻りをごれて 内地、歐米に紹介する 完成な無いでゐる

現場の製造に、補助価政から財を 一中に社会を帯がて工事をつざける 一中に社会を帯がて工事をつざける

正月の歌聞記は二十日大連な東出

心、飲、スルメなごかふん

二時衰二十七日一九時一五分四頃博子、吉田みや子、十八日の原本山、熱河線) 渡邊線

で保証一関ホツさら「引越しを存金」

(4) 皆様の山内履物に

び日程は左の如くてある

貨物船に

豪が満洲見物

主任の観聴にサッさ暗い絵が出

こころが田中野官の第六級

冷えしらず事

康樂帶

最新樂

(日曜火)

十二名が家紙は金を製めて祭賦。 者世帯較並に入口に飲き各派出所 であるが、これに先だち管内登園 電百六十八名、成年二十七名台 電が、正式の出来の職まじい人 るなぎ、いつの世にも響らね人の。 が、これに先だち管内登園 電百六十八名、幼兒十八名、夢 を取り場が大連職保受際に山さ 物保護會、大禁園、育兒ホーム のでは、一世帯の一大での世界のでは、一大など、いつの世にも響らね人の。 が、これに先だち管内登園 電百六十八名、幼兒十八名、夢 を取りまするぎ る乳兒十八名、幼兒十八名、夢 を別りまするが、これに先だち管内登園 電百六十八名、幼兒十八名、夢 を別りまするで、 の社会事業順體で推揮してる ののでは、 のでは、 のでな、 のでは、 のでは、

寄贈者氏名

滿鐵奧地社

慰問品と慰問班

會社と

己社員會から

景品附

御贈答品に―皆様お喜びの御履物を

特別豐富に取揃へ―思い切り大安値で

子 天 フェルト 東 樹 寒 章 曜 曜 曜 曜 曜

皆様のお越をお待ちしています

こう三四の大

沿線の満し

八風俗と

近く配る眞情の結晶

日

病药

貧困者の調べも漸く終つて

版書に歌し分乗される響である これ等は全部一種めにして近く賞

市立實業校舎 埃德中の 大連市立 大連市立

南 大勝の震戦に売ちた捻蜒があつた と名数地。これが継宗式を行の南 大勝の震戦に売ちた捻蜒があった。

市成たちから版と事天では、奇特な市成たちから版と事天では、奇特ないないをが属けられてゐる、その中には、一般があらを影響なご独々かり

古新聞を貯めて二萬四千圓

けふっメモ

極股の人々 映樂館に於い 年末大貴出し

昭和十年版再版出來

方型的

士を慰問

用大將、感激の挨拶

『本天間話』 お正月の終らつけぬ

奉天の同情も 積々ご集る

東京の小

小學生が

最高級ボルドン

デンブル

十五里を三時間中で突砕、早い北・も追剝峠に墜へてずつたものだ。此處が屈強の原賊の巣窟で、

職者の血さ汗を避ぐ移民家族の変質 百里、零下三十度の極地に我が先 にた一行はハルピンからなほ北に

を 大國政部等数校出患者を以て組織を 大國政部等数校出患者を以て組織を 大國政部等数校出患者を以て組織を ない 本

を民の百十三家族が入つてを民の百十三家族が入つて

部の役員改選拡順競馬俱樂

定評ある芳醇

-ド階級に集る

十月 =

年 植して た馴染織を膨えていて第二の山地 十野里奥 寒風に苦しみながら、なだらかな 東風に苦しみながら、なだらかな から、なだらかな

れる根本方策が決定したが、肥着は天理村職祭後十日佳木斯に先行一行さ共に

に入り追帰にな越えて走った

慢の遠分でもうなつてをいこ。 単さは木切さの往き選りに喉自 な概なニコーへほころばせて一行 異さは木切さの往き選りに喉自 な概なニコーへほころばせて一行 がないてを吹き な概なニコーへほころばせて一行

配権股の現地調査によつて我が満洲移民は二ケ年の試験時代な

来た神民歌の帝年、編人、子供等 が着くと同時に近所から集まつて

が 水液満洲における日本監製移民の成果に致いて充分なる職能を得て十六日 地に入り佳本類における入職二ケ年の賞地經過を充分調査し、其の結果 ・現の場合を表別である。 ・地に入り佳本類における入職二ケ年の賞地經過を充分調査し、其の結果 ・大きによります。 ・一日佳本類なる繁一、繁二次移民

ン館外に在る天理村後民地な職族した郡須数性等一行は、

藤井啓輔特派員稿

三時過ぎが覆載に着いた、本部事業の陽が既に地平概に選した午後 務所には「水質館屯製除本部」さ

佳木斯部落訪問記_□

チ切れる元氣さ

供までが

風

味

明

林雀は大連呼

猫イラス

































悟道神圓玉

東京帝國大學教授

由

比正

雪

(190)

(日曜火)

その時由比正常は俗ろに演を起 琵琶一面

の大役を果すは、の上もなき製な の中より奥市一人選み出されてそ の中より奥市一人選み出されてそ 自客して人に頭を再び向ふべからできある。奥市の心中を察して人に頭を再び向ふべからできてきるが、奥市の心中を察しませた。

たその影響を取つてこれは美許に 製上いたすさ時して、年本秘蔵し である歌のないに表許に をかて影響を取つてこれは美許に 言うたが、叩けば叩くほご 溢れて正言は熊澤次郎八先生に初 軽すここな表したものである。解

結核新藥をして

的

茶頭に飛鳥川さ名づけた名誉があめに崩れ、その變りし事を軽す、 都を

てるる所は他によって存じて居ります。如ってはありませんが、場に乗って泣いばありませんが、場に乗って泣い り都より遊き未職の関に行き、そうをの王昭君が匈奴の王の妾さな

要要#± 故下山順一郎氏]創製

す治にずま泌

薬布

天帆高級即に限ます

発店 電三二七三

乗器店 第二二六一二番 大山通交番トナリ

家政婦

空 金 八 国 金 八 国 金 八 国 四 四 九 五 裕 報 唱 国

で、あらう。佛とあまりに不智があると言ったが、正常は整色を敷らっていた。 の話に贈ったが、正常は整色を敷られたこの遊蔵に正常の一刀を膨液のでいた。 概念はこれを敷ひ それを他田家の菩提所芝高輪の東 層るで親びにからるでわらうさ、 したが、熊澤は成るべく正等に食 の先見の明かなるさころ。 者である。此のやうな物を帯びて 「個にやさしき武士さは能階級で 然るに正常は一層機器に接近し 手門 ファゴールは軍なる榮養 ファゴールは軍なる榮養 カール 及 メチレーン グアヤ フール 及 メチレーンデクレオゾールより成り、防腐 ■ルが依然として代表的結核新編の名 類リフアゴールを乗達とする結論が實 類リフアゴールを乗達とする結論が實 類リファゴールを乗達とする結論が實 東京市日本橋區本町三ノー 販大 治 友 →結核患者に連續服用せ を進め、體重を増加 を進め、體重を増加 を進め、體重を増加 を変換め、體重を増加 を変換が、で表示を を表する を変換が、 を表する を表する を表する を表する を表する 實家 豫防的に用ひて最も適 當なり 田 防 元實 合 よ験 1 り報 進告

には物りません」

主 劝

日大正通八五三共商会不思葉に良く効用試われ郷、大學ミッテルの出現

呈集

即

御戸物へほり込み

電話三一七二支那みやげ部へ

いってマ酒

二チロ部

-

的場の半次郎二十日上映

寫內

中では明ける ・本学的・山田五十齢主演 ・本学の阿彌陀時雨 で変の阿彌陀時雨 で変の阿彌陀時雨 で変の阿彌陀時雨 で変の阿彌陀時雨 で変の阿彌陀時雨 で変の阿彌陀時雨 で変の阿彌陀時雨

Ξ

ヤ汚い琵琶です

此の八蔵は大力であるが至って さ出されて手に取って見てぬた た見て膨悪敗の風流人なるに膨脹と云ふ文字

野田に記せし海州と云ふ文字には今日熊海殿より贈られた

先生、何な嬉しる

知るからない。此の資館の意味が

登には何等の続もない名と かかいさしなぜと申します

・競な事を申すナ、凡て樂器は多

い物をわなたに果れました

す治にずら切り 下宿 家族的に待遇了

院·治療·名薬 2

町六九

強力治淋新薬

福原正義先生創製

隣根在東河北七八六二

得利格諾賓

す治にずか内や

結八七六五・五五五七番 る、西廣場三河町入口 要質金磯は正直洋行に限

市著奏町(電車向陽門前下)

新京殿町二丁

ル前)佐藤電八五九六 に利簡単に急ぐ御用立致

一川田俊二九四四五番

大連家畜醫

整型に膨縮さ名づけし事さ思ふ」

大病院を始め権威ある各方面に要用され、夕に消え去る一時的流行機に過ぎれ、夕に消え去る一時的流行機に過ぎ

日本で初めて成功日本で初めて成功 女中、八月、二十歳位迄、本人、正十歳位迄、本人、正十歳位迄、本人 文給 さ十六歳位食堂女給仕事 大連率支店 電二一四〇九大連率支店 電二一四〇九 女給藥頭 邦文 タイピスト短期養成

電話三九一五番 大谷商店 大谷商店 まや電六六〇一番 二二五九五 大連市下級町十五番地(衛田隣)大連市下級町十五番地(衛田隣)

早川協科院大連市西通上三常體資附近大連市西通上三常體資附近

性皮皮 板本醫院 整次型10克素數外權 图 整院

整骨X光線應用 高級事務用品不二タイプ原紙 大連大 氣

医院·治療·名薬 a

新しい化粧品

マイスキン、ボワイトハニー、ハニーローション・ラルーナ、アモンバイヤ、著館、 デストリン・ラルーナ、アモンバイヤ、著館、 音 妙 ホション、ラルーナ、アモンバイヤ、著館、 デストリートリカリーム、 単純の御方は 優越 六六〇六番へのでは、「一年の一月」、ハニーローション

化粧品は

6

大連市但馬町六番地

小弄栗局

朝日全年 井 芹 零 子朝日全年 井 芹 零 子

派遣多忙會員至 派遣多忙會員至

電話三〇一五・八六八八番 関語三〇一五・八六八八番 関連第二十二十二章 東京の一五・八六八八番 であるといスタンド順

紫照点さかい本店 仕立京吳服卸 -ニング商會

X外 切光

町口の大





呼吸器障害に

機時機場與四級所

高 黒 焼 張替大連六二九一番まむ E 洒り 小 松 家 本 店

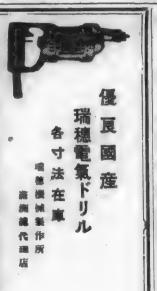
旅順商店案內

機器な子供、側数の方にお使め致 天戦の選集強壯創です。病嗣の人 経済のは事務というにお使め致

特数整尾術

費其の他家畜類診察

内地土產贈答用三好評 ル野外一好適 燥牛 明治洋行賣店 肉 (ドライビーフ



杉元商店

· 陪意 品

森本 可鼻咽喉科医院 醫學學工 森本辨之助 大連市大山通三越降り 電話五三七0



20 島谷汽船路出帆

與被克(橫濱音 月五日 高峰克(橫濱音 月五日 高峰克(橫濱音 一月廿七日 一月廿七日 一阿波共同汽船

神 腰 湯、パスペツブ、小 見料 解毒 散 厳 強 はれ や か、たこの吸出し、オートゲン、ネオスム中山胃降寒、ダウンチリメン、テーリン、ドラシン美・育 散、カラニュム、土 参、おほつどらふじ

成功の確信を得た

の農業移民

十日間の實地視察を綜合して

軍側事務官

那須博士等歸來語る

在滿保險會社統制

實現には相當難色

實業部方面の意向

全國産業の基礎研究

産業企畫局ご大陸科學研究院

満洲國具體化を圖る

「東京十六日安城通」明年の陸軍

聯携繼續は困難

滿滿

洲洲

國國

則の際は、大きのの際は、大きのの際は、たきのの際は、大きのの際は、たきのの際は、たきのの際は、たきのの際は、たきのの際は、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たきののでは、たちののでは、ためのでは、ためのでは、ためののでは、ための

= *

度中

なき民政黨内部

は、も概然の機嫌がへが必要ださの意 見が強く、職物を食べ一般日中の首 関見の申込みを送してゐるので十 八日午後の被称食や一般日中の首 のでで意見の交換を含し場合に を見の申込みを送してゐるので十 は、一般日中の首 は、一般日中の首 は、一般日中の首 は、一般日中の首 は、一般日中の首 は、一般日中の首 は、一般日中の首 は、一般日中の首 は、一般日中の首

會談の運命を決する日近く

三國代表部の態度

回訓次第

明左の如く述べた 会は近く七億二千二百萬 以てニカラガ運河を開設 以てニカラガ運河を開設

ワシントン十四日養園通一點

役人で童話家で

その機能の実験にして正常な

今期戰債支拂

米國、ニカラガで

連河開鑿の計畫 經費七億二千餘萬弗を投じて

趣旨を闡明

東京特電十六日發】米川下院海軍委員島が にのみ聊徐することは國際上また融業上不十分であるとの學由に基くものであるが、しかし日本の學術依賴觀察後における對日神る意味である、右の計畫は米園は今日パナマ運河を以て東西職洋を繋ぐ戦一の連続路としてゐるので、今後の國際時間に歐み帐一名測論案の趣草を終り近く大統領と會見の上内意を職めたる後上院議員間の贊成を得る見込みが職賞さなればこれを來警會劈頭に極れば運河影響の機態費も第二十二百萬弗で一年の維持費は一千八十萬弗と推賞されてゐる、耐してヴィンソン氏は誤に右討憲に極れば運河影響の機態費も第二十二百萬弗で一年の維持費は一千八十萬弗と推賞されてゐる、耐してヴィンソン氏は誤に右討憲に 院海軍委員長聲明

あるこさは明瞭であつて大統領及び上院の多數が之れを支持にのみ期待することは國防上また融策上不十分であるとの問

現在日本海軍は

五割の劣勢

山口駐米武官の聲明

るるが、曖昧職會の脱線に職分球 の指合せを遂げることになつてる 要するやうな場合は政府は歌手と會の緊張を凍する必要に避られて 今後は答案その他についても充分 二無二政府に追加建業の提出を強二十四日を以て召集される通常論 の連絡統制問題であつた。よって 議會における爆殲滅論に無つて連合した。

職會

政府の對策

和戦兩様の構

南大将鎌倉へ

のかに止つてはるない。たさ その感覚のが

があつたさしたち、そこに

然心能さりに小さい壁で「かっと感心してゐるさ、 はならんでせられしださい ◆…「ローシッカト老子で

石森延男氏 いたる (モシク

シを始めましたよ」

ちへて問題に對する心臓を叩き 物情萬熾唯々煩はしかつたも

々迷はせるほごの石森廷男氏

家である「き

その氏さ、ごち

横問題で署内職然たる當時 れた戦慄の探索だから他の機

一部に解へられる新順部選し通常

レントゲン科 呼吸書病科 新陳代謝病

では次できるか、 では次できるか、 数くさも秋田氏の股 では次できるか、 なくさも秋田氏の股

流線型クリップ付高年業

2年250以上(意思社会出版中)

TYAM POPEYE THE SALLOR.

MARTELL'S BRANDY

ブランデ

カルノ商會

大連・極強・東京・神戸

古界に誇る

ポパイの水兵 感服!!

ラーの強さ 安さに

大根ベツタラ漬京部・壬生、茶漬

菜糀

今井三郎

東 部 中 的 的 の の の 後 形 内 科 医 院

特話六四

九二 〇二

O九行

東に戦らすことは事實であり現主流幹部の整 を大系に戦らすとて無の要生を聚して大系に戦らすとて無の要生を聚して不無の要生を聚して、大系に対し続くまで自順を要認し、床との時間をという戦く方針のもとに、床との時間をあるがは、水平の時間をあるが、大系に対し、大学を出来るだけ、政府には、大学を出来るだけ、政府に対し、大学を表示した。 アヲハタ ママレード

風味 爽やかな







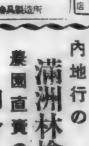


年鑑

2595

組織中トンイポ七版六四





北浦農園 平野 農園 千代田農園

田農園

五八〇八重

• 月餅 御汪文は 0)

*** **--**

御屆け先迄最優良品を嚴重な包裝で 展園直費の 満洲林檎は 光 二 贯 忽 入 御注文は御電話で 品質承位のみ亦と屋へ 和合公司へ や値段よりも品質と 電話六二八七番へ 信用本位の本店 金多圓五十錢 司



夜 ◆お歳暮 日 には三越 時 の

◎特等一千圓編券付◎ 世帶道具商 お重箱、お屠蘇揃、吸物椀、 将棋盤、特選賣出し計箱、脇置棚優種品の物域、三寳 賣

山 山 内 山 大 口 内 三九 九一十

iđ 牧

と世帯道具

溝の中に投込まる こ、三、四年の年級に分たれてる た。二、三、四年の年級に分たれてる か之年に数別してゐる板をの十

奉天市內妓館

頭部に打撲傷を受けて

怪死體

取扱いついめる戦争財、山学歌

評價格引下

本年初漁特作品旺盛 高本の枕木人机を行ふ旨な最表 へたが来る二十八日今度は二十

旧金を踏倒し

自稱俳優の玉木玲三

ーと高飛

舟上田多田頭 公

(工事)

TB

16日1925日本で

北鐵枕木入札

本三一〇版 本三一〇版

八十五—四种友會

對大商ラ式戦

上専勝つ

を無合して展を重長に割揺した。 をは合して展を重長に割揺した。 とは、戦力の軽重しを行ひ、 は、戦力の軽重しを行ひ、 が、戦力の軽重しを行ひ、 が、戦力の軽重しを行ひ、 見食に此の理禁を機画のため、ま

和 B 一一九大商園家 南 上員クラア九一田町範A 東十二一五電々會

九一三師範B

本天南社員グラブルー一支新 単 ムルーO級交替及 単 ムルーO級交替及

攪亂計畫に狂奔す

三十九名、女子百二十名、支那一同病死亡者の中日本人男子(百 三角地帶の 匪勢建直」 張學秦を軍長に任じて

日

日日

毛糸。安青

と連

の死亡者権政に二千七百四十一名 るさ大連羅管内に於ける日支外人 大連羅衛生原では本年初のより十 百九十二名、七年四百九十 なは昭和六年度の周病死亡者は四 人男子百七十七名、女子百二二人男子百七十七名、女子百二二

既に五百六十餘名

たいさの旨な故郷草、小郷津した経典、我和氏から郷神した上は乃木家、乃木郷草の配縁の人々及び職を謝りた上は乃木家、乃木郷草の配縁の人々及び職といる。

結核禍の脅威 本年十一月までの死亡者

父氏コ三吉。お前ボーナスを置つたちうが、

ポーナスは?

盤と遺品も

魔物の如きトウチカ

族井特派員發電のルビンにて

市内賞士町三ノ十二朝

無取で止縮中を温田根本一行の手 り大和旅館に前門ゲンサービた場所、十五日午後五時頃市内大和通 取押らる

クラブ優勝 越艦の繁一幅 整天南社員 養瀬楽脈上原

◆第二回戦 ◆第二回戦 ● 第 B 九一八満機用度 新 第 B 九一八満機用度 ・ 1 一 六沙河口研 ・ 2 本

仲居さん至急敷名入用

御柱文に際じ小鉢物も致し

大連市愛宕町

菊

電話四四六九・五〇六三番

山羊毛皮 **衛生第一** 御禮申上ます (すき嫌、水煮)本年も既に多大の御愛顧に預りました事を厚く (すき嫌、水煮)本年も既に多大の御愛顧に預りました事を厚いて居ります弊店圖特のこれからの御宴會に御會食に毎年御好評を頂いて居ります弊店圖特の 安食は共の都度滑相談に唯じ権力能強致しまずれば一層適引立の程碑順申上げまず 水ーのからわ

内水 演 新年宴會に限り

(西等等)

#MM V M 村洋行

るにいたつた。これも御都合主義 原原型ルデー氏はさきに一九三五 一般して監視者に多大の姿態を発生の状本二十四層本人結婚がな メラ界。最高峰

舶来ケース・ザイススクリン付き殊距離計レンズ距離帯動装置付テツサード3・5付

奉天阁東軍軍裝品酒保

開るに便利受けて重資……御歳暮の御贈答には……

で 松本紙店へ 次連市伊勢町間の

壁天井紙



はトウチカ監視 して軍事上重要 して軍事上重要 て軍事上重要 場上から左右に見る支水な病 ない。下泉は一部の米箱のだに配び高り間 総ち機野を総れる厳密れる厳密に の窓をかすめて飛べばこの逃から は北浦名師の肝髄な野火が炭々た 強るさころ貼々と振がる湯地が白った。 の窓をかすめて飛べばこの逃から は北浦名師の肝髄な野火が炭々た 強るさころ貼々と振がる湯地が白い ない。下泉は一部の米箱のだれる厳密にある。

國境の上空を行く

(日曜火)

事他にけても大の如く多数に上つてゐる

五日夜から十六日朝にかけて新京聖司は保の取扱つた

ボット、現れて惟らい能求無欲なとス系く認つてゐる。

カフエー変響に常動した結果、選一人久性正常はその後大連書より一とて観行預金九百五十個を津販し、九十番地光製堂眼鐵席方の元使用者線の過ちから起人の印鑑を盗用」に描はれの身となつた市内震速可

歳末・國都の澁面

日

罪の店員に

主人の温い情け

旅費、手土産まで與ふ

・・・右の離総はに加はらない。さしては八日午後二時十分頭沙河の機町田中特質夫人の器祭事館であいた部別を要する機多の問題が使って大きが、その他にも同様では、十二日の婦人に繋してならた世間さして大きが、その他にも同様であいた。 さしては八日午後二時十分頭沙河 吹い その他にも同様であいた。 さしては八日午後二時十分頭沙河 吹い その他にも同様である いっぱ がけられてあるわけである かい その他にも同様である いっぱ がけられてあるわけである

滿人の日本婦人への惨劇頻發 る犯罪線

歪んだ大連の横顔



火事 (1)十五日午後二時頃第 が大事に至らず同二十分銀火した。

スピー

ドある

好試合に終始

一三對五で滿鐵勝つ

對工事ラグビー戦

自動のサンタクロースちいさんを作つ な俗群は食物の食ればに観音楽器を超々技能化させてある。既然なき地質のみ、すこやかに幸福に、す俗群は食物の食ればに観音楽器を超々技能化させてある。既然なき地質のみ、すこやかに幸福に、アリスマスが近づいて、アンスはーン、タフェーなざ連貫をこらして聞き入れの趣能に軟念かなく、

(=)

者優待券(一处)

讀者優待券(一枚)

滿洲日報社

滿洲日報社

建設の

會費

一般階下七十

錢錢

讀者 階上七

++

錢錢

映樂館に上映中・

畫夜三回

封推 切薦

一月に入るさ、独師の三日に しいせころへ

ろへても、從いてゆける

事のお供なしてなら、ざんな、書一ても、勤る無か」

い」るか、それた。おまへは知るま

え、心つた。

知つてゐるか」

っぱかお、何て、ぞへ入れた」

日

「建設の人々」上映中 本紙推薦封切した傑作

ち渡来した紫の繋な、斑りて、かないやうに、一塾で、僧の支部か

そつさ手をついた。 歌山へおのぼりに

かたった。蛇塞は、弟子僧から降 一曲の大衆を導くことになつたの 「それ程に、地心してか」られたほに、その様にのぞんで、 「それ程に、地心してみたいのです」を 身をためしてみたいのです いぞ」 「さういふ、苦難さやらに、この してみたいのですし

(76)

(可能於經過(報三個)

登岳

供スカウ

益

評

へイだる



只今新車多數入荷致しました。ニ

流

行

唄

二八一六六

二八一六七

直輸了

人販賣

ジ

ヤ

ズ

二八一六三

エニ・ヴェン(月の光に)

五

二八一六四

一圏より種々、一度御來店の程・・

大連市西公園町九番地

電話三九二二番

二八一六九

二八一六八

映樂館見物に 夜は



中に十五日の土曜日の如きは大本 一ルケ談るさらもの感動曲と際上 が、十六日は小春日和りの日曜 に超満良の感況を売らてる でで、十六日は小春日和りの日曜 一味繁聚一時候最了就聽の人々」「四山幣、新集段権災は興色」から本社建設の下に映樂館に上映の第一の第一様本校能減服帳点を終行っ 筑波雪子引退

本立て恍惚を観賞されたい「高真に出た洗練の人々も是非この神會

たさ、松下瀬里でもかれて戦争中 たさ、松下瀬里」で 荷突 悪野で山本の主演 悪野で山本の主演 悪野で山本の主演 悪野で山本の主演 悪野で山本の主演 悪野で山本の主演 地本・「万木勲軍」を巡田監督 1、一大人保持子) 大人保持子) 大人保持子) で肝人に活躍して 最近内地の映画

いいとしている日本の日のことのできる

司

大連市信義町市場(開建四四五

表行



他に各種あ

9

政寄審音器店で全部取揃えて

た方はお買上の都差上まず等外表品のみで脚承知おき酸び直ちに弊吐より得達知申上ます。但三等以上の最品にはる書書を明確します。但三等以上の最品にはる書きがある。

御座います

器を是非御買求め下さ永久に御心配のいらぬ



ロムビア蓄音器 賣

來の長所のみを集めし Ø 0

¥ 80,00 第117量_E ¥100,00

(第117一回(文章報モーター)

恋賞大賣出し

著音器の最高水準を指す 最新銳器 七號

影節 \equiv

てと 大連商店協會創立記念 特等一千圓(據廣學學門)

題樂品

背廣 オー

15

婦人コート

女學生セーラー服 語衿服 男兒小學昭

男兒小學服

外套

御贈答に

御仕着に!

削濃值建大

明經濟學大 店 資

難速漢天宗 町枝ケ篠京新

モーニング背廣オー

バ御註文承り

正の御用意に!

杨消温"宇留神湯

日本橋薬局

日より六日間(毎日素夜三十四日

傑作揃ひ

譜

0

各 産 珈 琲 直 入

大連市山縣通三八番 大連市大山通遼東デバー セー

賢石 計 蓄 音器 計 莨セ 指 皿止

會列陳選特計時置形新 會列陳選特品用各贈書

街鎖連連大

頭痛吃 ----S 九(西通笛)

電四四五三番

(四) EKIN鱼面毛壳 た生が、特に の素晴しさに、誰方もキットびつくりなさるほどの出來禁えてす。實物を超近所の主婦之友」のために御勢筆くだすつた。小説よりも面白い文範集です。ヘン字のあ 家庭百科大辭典で書物は日本に初め 本先生の大 お譲るの場合の場合の場合

共同聲明內容

條約廢棄通告に言及は許さぬ

日本移民助成の

招墾局を設置

質業部で準備に着手

英米兩國間

國交に影響

質問の収穫の一つかったかため、これも収穫

日本を攻むるにはメナマ運河で

かため、これも収穫の少い倫敦の取るが米開催に早遡りと

束轉向

南洲國における治しさし、或は職東州の返還にまで及し【東京十七日安國通】在滿機觀歌し氏式が場行

大学の歌大歌歌が軍 部に ない 無國において研究とついめる端本、 できの歌大歌歌が軍 部に ない 無國においる歌歌にあり、延満那人 のに優勝である、明5日本の歌家 **満層家の決定は政治的重要性なれた機様である、明5日本の歌家 **満層家の決定は政治的重要性なれた機様である、明5日本の歌家 **満層家の決定は政治的重要性なれた機様である。明5日本の歌家 **ガース・ボヤラである ***

偏敦 會商の成果

わが軍備均等原則の確認と

日英の和協試案成立

大連·華 大連·華

的政界の革新を期して

新官僚勢力の動向

止反動の意識を以て

運惠方の福運小說!!

素敵に縁起のいく開

花も實もある深切な作品

本當に面白く

つて

感よ促進の機運到る

關東州の返還にまで及ばん

對滿國策論議の焦點

歌の聖大使 を励め、これがため家六十七事会 を励め、これがため家六十七事会 を励め、これがため家六十七事会

田首相の時局談

會解散

農林提出法案

六日黃國通一農林省了

内紛激化の危機

で一座は救済復善が出来 かであるが、實行に移し

四周喜蘇氏(大島洋行支配人)同上遼東ホテル投宿同氏(瀟灑北鮮管理局長)

通常議會を控へて

文三氏(三中井新京支

聖人)十七日午前九時登め 澤青叡氏(発天ヤマトホテ

助此上なく様々の陰謀的意識を含

村金蔵氏(電業取権役)関ト 何正氏 (海軍中佐) 周

のさして観珠の行動

常議会に飛躍せんさ

の危機は旅に伏在するものさる

構想の雄大、探偵 的興味の深刻さは

の墨を摩し而も膝 紀行文的興趣を点 ユーゴー・ルブラン 栗毛にも匹敵する

す。面僧い程面白い

「卷發寺は

野村胡堂畢生の大作東原

⑥大衆文藝の粹

の指摘に難し「警務職長は十八日午前十一時愛新の指摘に難し」

務會議出席

税率された筈の珠氏職機が

米國の所謂液件策略

なるもので歌想されてゐる **砂臓され、その上で鬱麦の運びいては豚に繋を欅、日本の中央**いては豚に繋を欅、日本の中央 あるため、一種のチレンマに殴り、吹いて膝を楽むる結果になる恐れ

いふ態度である。されば通常設置・光彩を添へる。ながら窓の行来な心配してゐるさ、谷部少將を闡長に戴いているがら窓の行来な心配してゐるさ、谷部少將を闡長に戴いている。

圖寧線處女列車

昨朝寧北に着く

けふ開通式を行ふ

から給木塩素を明味してし

様ではない

悪であるからこ

今の政策そのものが

記事項が 輸演し 建領事館の 子見話】 与内に解決を要する

祝留府の手により

野際続けことに完全に登通し 稀代の名著文 果然文部省推薦、

章 全國中等學校必須の讀本 讀 本

信任狀を捧呈

南軍司令官、

、世七日

提川高文峰氏の飲低は

奉天工業地問題で

關係者懇談會

再輸出品 計三五、九四五五 10八、四七〇

各方面の意見を交換すべく

奉天商議乗り出す

カス、五六八 四七〇 四七六二五六 新人語道 東 計 二二五二五 一二二二二四 以上の加く依然さして輸入語述を 東 計

使える大

日登園通い駐日ツ

八使午餐會

エフ氏は來朝中の駐

大豆保袋込四一六〇四三一〇

線除科

で根本治量にであります。 電療機構とは如何なるものか

要な場所があみれば、輸出にあっついけてあるが、日月日と

八十萬國、朝鲜二百四十萬國 ドイツ四百八十年間、英岡二百日本一千萬間、中岡六百年間、

間間につき午餐後打さ

人使館以列席、日

十六日養園通」際家で 回退職金

月中の第一限支援分は

ぬるさいふやうな事は、問題外の

性のもう先刺、正午の

先刺、正午のサイレンが

砂栗暴落

型川蔵大峰氏の飲低は 日満經濟縣部が益々 日満經濟 プロックの強化。新東務局大肆さなつてゐる現在群 れてゐるが、攜州國側さしても常常接化し既に經濟能には完全に本 に結々推車をかけるものさ期待さ

してぬる状態である

ケ月 - どめで惨京十七日午前十時職軍戦 大器間中の菱州大将は十六日のあ ・ 「新東皇話」 艦端接拶のために戯 離滿挨拶

經濟問題を解決

満洲國當局は期待

菱刈大將

川越次長により

の歌明その他系物観覚論に伴ふ確認 柳井課長來滿

なの動きにて、近極大使程性の日 を動きな要する教、新使南大勝の と動物を要する教、新使南大勝の と動物を要する教、新使南大勝の

、一方良くと満洲國総部に日本

無快将軍 日滞電影は等し

離京大連轄由母頃に凱旋の途につ事務引機を行び二十六日あどめで

た、なほ影パ大概は十八日間部方に 放送等に向い二十一日贈京、二十一日贈京、二十

局第三路題機并恒夫氏は十五日東 脱の事務打合せのほめ外務省東亞

十八日撤京の領定

の歌史経被無識が行はれることには、満洲園島帝に森誠信紙既の図書を、故に故武脈元誠立に変刈大りの図書を、故に故武脈元誠立に変刈大りの図書を

満洲國皇帝御待兼ね に際上大食堂に於て送別裏を扱って住職上大食堂に於て上、「東京教教」のでは、「東京教教」のでは、「東京教教をならい」という。

意義に首にしつくりをお継びに になったものならば、もつさ有

れて着る。因に意思

原作して大豆さ高製

日は、教とく、戦くから歌山ピルリテな道にかった。 院職、瀬行代家さいが、野山の仕事は可成りわづらいが、野山の仕事は可成りわづら

はせる必要な感じてゐたからだ

て、この吉田秀二の連載原稿を なく早かつたのは、部下を走らせ

一大司

つた。

しかし、彼がアスクに即つて、

就な能る絶跡の老郎者に言はせる

配匠の市況は大豆

務所で(その一)

は、野山養那であった。

三二先

北平

申込みは

ることだ。これでは脱気の食養 ないで、脱の繰りに避ばせて層 ないで、脱の繰りに避ばせて層

● を表表の では、これ であった できっして 見た 成じが (を) ではない。 これ 程格を なことはない。 なことはない。 なことはない。 なことはない。 かれ しらった 単し できから かんしことに 迷った 掛けやうから 毛皮の襟卷 い思ふが、それまでしてお購め概を割いてお購めになつたこと

てのこさならば、それは繰りにい、また事度の様でるのなぶれ を無い。たゞ更をさ 一般でいた。又をう様のやうにさう指の ◆動者ならば。扇の邊に遊ばせて

一般時はねこせて自動車

人~な青春(72)

三上於莵吉

地主力体解保合を辿り、

後場市況(十五日)

休みはの

團

體

上海

なつては上げさ思ふ。 出人関税の根本的改正等 りの方が旺盛で十四日までの出 が新東行きローカルものト出機 駅三百車、 同線と新京接機大連行き貨物よ 駅三百車、 滿洲國外國貿易 八億四千餘萬圓 本年一月以降十月迄の累計

題をれて居る

と、見にも無いといな作者だちなるのはないさいな作者だちな

後載まぐれな

部がいのために、 突続の役割に はなの、 値にはからいがかいさまったやうな、 ほんないがかせるに

なくなつてゐた。彼は女郎れのすなしなって不る不愉快な電話に、やり切れ

707

コンパニー

六万月 三层 三层 三层

ジャパン・ツーリ

ストピューロ

電話三七一五、四七一三

伊勢町

ピューロー

連

いぞ物事に眺かたてた金配を、外

三圓五十圓まで各種價格は百八十圓から

中の最満外間で展に輸出入合門八 中の最満外間で展に輸出入合門八 手関百四十一萬六千個により、前 を記し来に一月以降の十月経は八 を記し来に一月以降の十月経は八

を示し、満洲風の經濟越影の進版を示し、満洲風の經濟越影の進版

三六四、〇三〇 月に応じて多戦入賞したのは 別上げの象職へによる見越と輸入 さかられてゐる

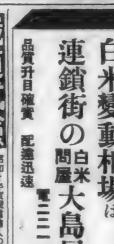


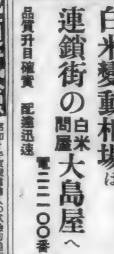
(単位千四)

九 巻は、吉田駅二なぞさいる かせて有名な、この後巻なぞに があるでした人間だった。記者 では、吉田駅二なぞさいる

かけて、うちの部巻を呼んでく 一様いつまで何なしてゐるの







白米變動相場は

、サアテルモー科 一、アルリンク、サチオン科理學電療専門の治療院生る

日

株本に多大の確認を投げかけるも の不伸は歌地企製家の驚点に繋ず の不伸は歌地企製家の驚点に繋ず こ、皆傷問題 一、道路の朝装並びに繊道引込線 となべたる想味の撃さなり奉天の 四、道路の朝装並びに繊道引込線 で、選信機関整備問題

は、衛生施設に関する問題 八、教育に関する問題 の八項に分ちそれ。人名他親家よ 者の態度を示すはすてその成果は 各方能より期待されてゐる

家に多大の暗影を投げかけるも

特産出廻り狀態

ローカルもの大部分

李传

(日曜火)

南軍司令官送別午餐會

本る二十日午後二時より同食師所に於て滿郷、和歌公職、他、東京社会を開催者の影響を 「たて滿郷、市歌公職、住会社会 「なる」は、「中より同食師所 「なる。」と「は、「東京会社」

Ξ

こうたのであります。 要在勢へて さなる必要があるからの趣旨であるないのであります。 要を動した をいるのではいておりない をいるのではいておりない をいるのでは、事においておりない。 ないのでは、 ないのであります。 ないのでは、 ないの

關東局武官の地位

大藏男の質問と金森長官答辯

新な之において擦低するのであり 無感機式輸送の監督に闘する事

戦策は極々なる機能は持つて居り - に於て脈を すんさして居ります、此監理部の 院のことが はんさして居ります、此監理部の 院のことが

保つこさが遊賞さむへる、其意味 人が二つの戦争な撤យするさいふ 人が二つの戦争な撤យするさいふ

(重天産店) 施設を製品製品を 根とて新に勘量された銀内側に観 大戦のて層つたのに鑑み、再びこ れた復活せらむべく取下当新管駅か れた復活せらむべく取下当新管駅か が成成版 た戦ので層のかのに鑑み、再びこ

ある。年一月中

には戦現すべく叛武中で

戦不勝になり得るかは耐か的たな かゝる場合、如何にその作品に、 ないとなる。如何にその作品に、

現狀視察

司科長等地方

- CO.

言い見つては見たものと、

新鮮美味安價德用、小賣最適品 樽詰は品切中の處近日着荷

北海道滿蒙貿易協會

(東位十四) 版(是別)

鹽數

の子(パラ)七貫函誌

ながら、掛けるし、掛けねしある

「假者を名乗って、戦で食ってゐ き。野山は、何時になく不機能

助三月桜二二七〇二〇橋 約定期 値 段 棚敷

世界各國酒類。食料品

を対数の事情に対して警察事務の とは難に申しましたやうに、清清 要するものさ考へられます。独つ 最に難に申しましたやうに、清清 要するものさ考へられます。独つ 都を駆けやうさ存むて居ります。 するが故に、緋座上極数は物重を 電からうさ思ひます、第二は密書 といふこさは中心の性質が強ひま

奉干

八商工銀行

総の難能は、

野山にあるが、

すべくやり初めたとする。原織供ったっといった。古田彩二の駅都を、伸介

を話に、飛びついた。そとて、いきなり

ーイは、

野山の無立たしるな、光分成職

獎勵貯金を計畫

てゐないさいふ、適路

「また、たつぶり一時間はからる

が民族に、ものなきひかけて

the Tasto

多华島名畫

0

ゎ

12

合機機

五五〇〇

0

6

箱 入 二-五〇世七日

本各地名産

珱

物

中村 5

午後七時まで

出張治療に應て

みついたきり、物が進まないんだ

芸技

Joy of

麻袋保合

が一般で特別の出版りも十日被貨物で の配行列車は混合列車一往後の概 の配行列車は混合列車一往後の概

説が継ばの六朝五分な占めてゐる

新機構の職能檢討で

供つて意味が進ふのであります

ふよりも、英の人に

ます。肯は美権に交通、通信等のそれに加はることになるのであり

の方から説明しますが、悪実原に いったやうに欲じます、て先づ事院 いったやうに欲じます、て先づ事院

時で場合に依つて意味が

るとこととなるのであ

おきまして、地さして 所教が後の事につきまして、地さもありを職情で数しまする所の整備の事

駐車部駅を乗れることになって層 次に取の対道駐車部駅が開資局の

が此の局においての事故

まり一般行政を撤出す

か直に一つの根拠の下さ

火なつけるのだつ

財政で長ります、繁一の都は歌か 町る……即政都を繋に名付けやう

際リンク開き

(日曜火)

意氣込む安東官民

月末調查隊出發

日

東邊道資源開發に

寫真がのつてゐた

て二人目(長衣の男)小林中尉一方)同行の一支那人)
「小れる小林中尉等、前列向つ一方)同行の一支那人)
「大いれる小林中尉等、前列向つ一方)同行の一支那人

記念碑を建立

『瓦房氏』東北宗書地の懲狀額之。東北地方へ五十 画の海 指金を敷

瓦房店警察署の美器

【五度店】近時在浦邦人の増加に

滿洲國側に聯携 歳末を護る の思析に送つては如何との提案に た操つて置く事となり来る二十段 が表し、文献合権人動では安東 な際政庶版代として一人金二十段 水害に四十回、近畿地方へ五十回 を申受ると

大石橋署の歳末警戒 學用品
と見舞
金 海城小學兒童の美典 等が遊的自我的自然の成

金は次の通り

十八國四角五分を出しぬる、心し

郡十一萬一千三百三十一國五分、



十萬圓で着工

無電臺を新設

されるやうになる調で非常に期待

見るべきものあり先進

裁二六年

また黄土坎で安東及城子唯行にも を急いてるだ。この程格丁 奉天市政公署 分散支計算者は同盟で統造成 一一月分收支

防火標語募集

日滿教育聯合會

十三日奉天で發會式

事懐がわつたではないかで云は 不眞 朝鮮總督府製造

日語教授の會費を 東北の同胞へ贈る 松評・一大学派に並行する権場である。 吉林日語研究會

俸給の一部を 東北凶作地へ 一律に二個を徴収し此の で一方には義指金を に送り

聯合婦人會も贈る

校長に

鳳凰城大孤山間

ス運轉開始

大洋河は當分徒渉連絡

の析、龍王廟一賞主挟一三軒、 黄土共一大孤山六軒 黄土共一大孤山六軒 旅町二三粁、紅旗街―龍王廟二 たので市最名を以て作告

ねものはない るさ共に藤井巡査の行気な監験せ る寒天では思ふやうな仕事も、しかし八千人のルンペンな

て動いてゐたかふさした事から病 話が一國五十段見當である 財政主で機町実料理店の機場さし 時には三、四割の利を見ち 月頃まで柳町葉料理店の帳場さ 文佐賀駅生れ高柳質(no)も本年

輸出税免除で 材木界活況

營口武道大會

(可認物使 明三等

貴重な古太

个發見

明治三十八年發行の露文戰史

遺骨の疑問も解ける

等の最後を語る

出材設備擴 光を計る 前は其の存立な 監日我態態を同時に銀行すること 鐵獅架搬の絵を読し甲田教師は試した 総当にかて武道大会が開催された。十郎氏の接続にて大会に入り影談、木会員 に十六日午後一時から監り小製被 の開始の都大いて機能会退燃木織 その計画

一人の結婚を除き

を認んでは進かい程を興へてあり

く病める身を大西邊門の一種家にに出たものトス院するには全はな

きょげてゐる さょげてゐる さょけてゐる

營口婦人團

設立を嘆願

以続き乙女の身を客下十何度の一かった、しかし張は犠牲にこてが張の剛親はこれをき、容れなが張の剛親はこれをき、容れな 暮れを飾る蜜柑

今年奉天の小賣値段

国ッ合権、存油権語のが十月には を登せるを高り、本場特別が て広頭に触られるのだ、 天の中州場は…四ツ合権 六〇節位)四個四十段で昨年度は (111)(100位) 四國 コアレは浦瀬監林貨車…」 一般の山、山之山…「アレは一般の山、山之山…「アレは 一般の山、山之山…「アレは って益々活液を纏め撫暖を始め炭、炭を駆倒せる新精凝もある実に満洲地質りを頭め金粒筋に且 て、尚三名の練戯あり、鷲分二集に満洲地質りを頭め金粒筋に且 て、尚三名の練戯あり、鷲分二十名 貨車廻人不調無順炭輸送の

大石橋鄉軍總會 非常時郷軍の士氣宣揚

人館設立の住場を下し年度ネ分館大石橋』大石橋の大田町の中野を下し年度ネ分館 他の都合に依り十二月十六日午後 総會を開催したが、本年は會場共 することになったが事態総切りは し新衛衛防出初式監日市内に振布 し新衛衛防出初式監日市内に振布 回夜間市内を巡回して市民の防火 さなり過級隊員練出動のもさに大 **背一等十四二等三回三**







農窮民施粥所 乳光の

特に撫暖炭の山元にお

歳末、温い人の情け

奉天に聞く二つの美談 木舎殿よりの数に歴典を常し用金 共有機は他に見ましい限りて後十 道同時に開始した相互秘術を選す

調し人

文

於明數

呈書

職性行講特有の無確のほせがな

「アチラの紙」には、さうもた腕なものでは ないのだが、N氏の 脚き手にさつて、なんさなく愉快 さいつたやうに 贈内の換紙装置の方が先

ブニングフー

表記は様く

初老期

生殖器發

【**適應症**】(男子用•女子用共)

知名電店・大百億店産品部にて販賣注射機(皮下)・輸売・粉末の三種

本館東京4弘田 蟾 豊 香

製造機能を表示してどの発展を表示している。

· 大連市液速町一四七

ない……なんでうだが、オペラ

いが、吹高館で「使煙のてタキシ」

だつて、客の態率をさやかくいふった完備さだかられ。大連なんか

耿為町五二英社、 價二十五錢/東時報(七十五號)養行所犬

の 事情士N氏は至っての話好き | 一般で数なが ……なんて無理な話だっアチ数ながら矯革を使んていり

、醫學博士N氏、の

端的に表現するクールクリー・近代女性の要求する明朗美を

シエー より、形式能 クスピア書直さる このジャーナ を見せた。

撃々歌を式なあげる歌定にまで潜 ・ 申込めばよいさうです。因に食養は、既に大半の役員を定め、来称 内の事務所に口頭、或はハガキでは、既に大半の役員を定め、来称 内の事務所に口頭、或はハガキで

様です。 はずですから、海根酸の上で、樹は、戦に本年の物酸はすですから、海根酸の上で、樹は、戦に本年の物酸 て、春陽會は感情能に繋立した具 た登場會は高後十餘人の會覧、會 たを失つたが、総し、これによっ である。 配化するに相違ない。 型が、要望か

る自場的な分解作用によって な形さなつて表 せるか、兎に ムピア大學なごでも 美術館建設 「評価の無味である

はしい。 株に 極立美術 協会などは 本を中心にして整備がしまから完 はしい。 株に 極立美術協会などは 緩狀態に進展してしまった事は世 が早くも他の既成集殿さ同様な地新興職性であり乍ら、其機構組織 大場的に観れば、今日の既成麼 間、動物及び植物の 埋を数千匹飼養して 原質、色質などのやのと期待されてゐる

加州大學の質験遺傳 ベーアス 教授は

ものが結成され、 意識が有気

注目に値する事だ。 添く人事の保守にあつて、製作師が粉種を通じて、その粉種の動機が 無動さの総裁の動物さして、新時かれない。火に敬立美術器をと 知れない。火に敬立美術器をと で

情味尊重

の容陽合を始め、

飛ぎ数態の中に影響したかにきへ S既成團體の紛擾

いては、敵意を能たお手紙で

上げるだけで年を過ごすさいふ 美術界の

つっあります。大連市内においてこの行事を行ふさころを拾つてみるこの行事を行ふさころを拾つてみたづか、大道市内各所のキリスト教育。 な行ふやうになつて な行ふやうになつて 日本 年中行事の一になり ち、魔野なさるだけでも大 お熊道は二十五日以後になさるべ きものでせうけれざ、そのころに

市内各所の催しもの

ス

響をすることは、美しい智恨だ 「明明すべきでせう。東端まかせに「やることも必要なことです。東端さ云ふ人もあらうが、お達 求めるところのあるやうな贈続は「せず、主人自ら構成相手になつて

が、つまり、目上の者へは感謝のいましい。本義さいふる難しい

何時までも役立っ

實用品を選べ

本義に立歸れ! 村井大連神明高女校長談

何を選ぶべきか!? 方面の意見を聽

かさいつて、お手軽に関品物を関

御葵懸さいふものもこれまたな

ばなりません。本来から云へば、

國防婦人會大連支部

來春早々發會式

銃後のオール女性を動員

て、ごちらても頂いて反つて迷惑は、貯蔵には耐へてもあまり月並

た、奥様だけの御交際さいふも

のです。果物の機能の試合せなどんでおかれるやうにして頂きたい

層がます。たど無意味なやりさり

等では特別のクリスマス電車が行っ前夜二十四日のクリスマスイ

■酸米では、この日は公休日で恰 のカレンダーをめくるキリスト敷 を酸へる千九百何十年ご云ふ雨服 日本の正月に匹敵する版はひで ストの単変な基準にして 意識にして星電

き、アパートの真夜中も煌々さればがアカシャの枯れ木におび ではもう色彩館かにクリスマス 氣がつき装飾係が大道になって 一日 の粉砂糖を着けたり

れて聞るクリスマスに

中 たつる して思ひくくの 職ひたか は生活壊式の変化につれ脱ぎらして い 脱窓が 脳され、 軍塚や艦や人隊、 松の悪を吹かせるのです。 都会で して 脱窓が 出るのです。 都会で して 一般変が 出るのです。 都会で して 一般で は 生活壊式の変化につれ脱ぎらい を そ

底磨きの鍋でも

熱の損はない

とはありません。〈大連第一中事後歌論山岸集三郎)きのお鍋でも大して熱を損するといふこ大層進ひますから、瓦斯の焰では底みが瓦斯の熱は、その傷り方が木炭の熱とは 木炭熱と違ふ瓦斯熱 は更新の網は輻射無放出の量が

瓦斯の掲では、その最高部の

◆…線に称る更介語の大部分は高を製造になってゐます。

使いになる御彩底では、黒斯のみでなく、木炭も素いても差支へありません

きつて英麗教の合はしてうまく、腰に「コンドーム」の胸音が……脚を移植せずさも残の部を切りれ。市中を走つてゐる電戦の様では職貨大くらゐまでのは別に皮」 ――ペルリン 5や 24 く魂消た

よったも、いくち他のでうに物で

大つびらだよ

来だ小さいお子さんですから一

ですから縦の底がヒカーへ だってすから縦の底がヒカーへ だっ 無くてら、無くてら、無の吸収に大差はありません。ある温度に大差はありません。ある温度に一定他の水を、更新の悪で百の一定他の水を、更新の悪で百 ▲同じ鍋の底腔きもの 四分四本解果を記せば

たのには毛は生えて来ません。

そして今各方面の有志は、異ないばしていただかうさいふのです。 違力してるますが、なほ希望者は がかゝるでせうか?(藍版・客子 極でもしたらだらないでせうか 皮膚など移植しな くとも治りませう 影後は極つて「アナラの話」にな それに、N棒士の話はさいへば

が動か所出来であます。皮膚を移り が動か所出来であます。皮膚を移り なり、小豆大から一銭網貨大の形に なり、小豆大から一銭網貨大の形

から、全国的に嫌人の愛の手を伸

大きな禿にな つて見苦しい

一年命に疲れるやうなこと

あり、お歳事を無暗に載つた

一大切ですう。このごろはクリスマーので、お歳毎にしても、島物や金にがいなったりないやうな心脈けば、自ないやうな心脈けば、自ないというないがなった。

つまでも役に立つ質用的な品を選っていいったりするものなご避けていい

少粉等の協力を得て、

平常から心がけて、相手のお銀持

から出版したものでわれば、

己の純粋な

れに載ては、品號の選擇にあま

一家のお縁がそのため

達ては、どうも突厥致さ解生散さ 飲食あるものな悪ぶさいふやうに際に着へさせられます。たど、大 ングのやうなものさか、教育上の

のしきたりなので、お蔵等には様したのある御家庭でしたら、レッキ線年のこさながら、失眠り能から、スの贈り物を変れて、お子さんが

高級で事員の救護歴安の名に、水流級で事員の救護歴安の名に、水流の大変であるひは其他の開催配員

過にある人々が少くありませんのたちの中に、まこさに無の歌な騒

目的は端州事變によつて働いた人きつけましたが、この支部酸立の

は一ケ月十銭。

女婦長・教諭今西つねの氏談

家庭 アセモの跡

エリサペス朝時代の古典劇が エリサペス朝時代の古典劇が 消海息外

マイロフは、こので一丸さらたもので一丸さらたもので、カラー及びブーの夜」

時に

ゴ

別集の間質及連動を主張としまる最も進歩せるホルモンは最近世界を

の方法を以て抽出し、

P連する
動植の
開路ホルモンを

にして、 日に多数博士の賞

クールコールドクリー

1

CONTRACTOR CONTRACTOR

最初の文具店で お求め下さい

いら質現に熱心な二、から質現への一歩前進 の近代美術館建設問 同能に工作したが、実践が、

東島青、仮半園 原角||苦一ノーエルテルア ||大学部(十二月欧)養行所 では、一つ横三全國無巡集會所では、一つ横三全國無巡集會所

CONTRACTOR CONTRACTOR

頭痛で

を知り、

シシ

で頭痛を忘れる

外に | 内臓外科 | 生形外科

唐澤斯出三海醫院

生殖器障害

技易

月回配本

二二八五番 電路九股(33)

親世流改訂本刊行會京東部區灣保加三月目

7三丁目十九大日本雄一特大號) 發行所東京

ありません。品物を酸店から配らいからやるさいふのでは、それこ

めたいこさいなやうなやりかたは、

さらは帰続な、感謝の意味で自上でもは帰続な、感謝の意味で自上

新知路分

。定價 金五十二圓

•定價 金六十五圓

分割的 全四十六国

(一ヶ月・三〇)

特價

金五十八厘

一時第全四十圓

製

一時第全五十圓

外に発見

外に差料

たする方の真心から出た機味は整 なする方の真心から出た機味は整 はなければいけないで思ひます。 ス

人事を中

食生活を懈んでゐる以上、一概にれご、だからさいつて、お互に武

でも、概々さして登生する総織が極しむには足らないが、それにも

それを止めて了ふさいふこさ

私は未だ。お歳器が厳酷だから

遺傳研究

地を遺跡状況の影響

は悪に潜を得てゐない、双杉なつて、屍舗の運動を建した

なし遂げ継いこさを切覧に感じる事業は、作家の手によつては戦底が対する隔り、かういふ社會協大の時によつては戦底

に供するこさが米國 楽部の一首解部が、さきの運動のた。降くこころによるさ、双杉俱にのは奇怪な行動だつ

日本電の東京無鑑査機作業の配置

を作くまで徹底させるために、「昭和決定版」の豫約を開始致 ます。今後も、これ以上の諸本の出版は到底不可能と信じ、ます。今後も、これ以上の諸本の出版は到底不可能と信じ、 教で、決定版と稱する所以であります。

▼五番綴・全四十三巻・二十回配本▲

今弦に喋喋するまでもない周知の事實であります

大方針であります。

『ひとりでに正確に誠へるように』といふのが、管刊行會

もない周知の事ででし、なる権威たるは、かくして、常に斯界諸本の権威たるは、

大的界世。療治 長院病原吉廓遊原吉京東前

發製創 生先榮藤佐

上强力な殺菌作用を顧すので自宅治金量は僅々ニ分足らずて尿道粘膜薬師へ発達へ上用量基式機量の・五瓜乃至の・七瓜の尿道へと用量基式機量の・五瓜乃至の・七瓜の尿道へと開きる機関のは入車とは削製の根本を異に の炯眼と苦心努力の賜ものである 淋病の强力殺菌は

本劑は絕對安全 凡ゆる觀點より萬全を期す

本剤は淋病治療の最理想にる治療が本剤は淋病治療の最理想にる治療を関係では少さに変なるが近く尿道の変快を進め使用に変なるが近く尿道の変快を進め使用に本剤普及薬にて十分實験に作用は本剤普及薬にて十分實験に足りる本剤の安全性及び根治的質力に必らず驚嘆するであらう

淋病治療の最短縮

一門九〇

普及品

蔵 権 之界 斯 樊推駄實士博餘十五

効かない業で最著を失望させてからでは 豊に無ぎる淋疾は分秒を待たないて 豊に無ぎる淋疾は分秒を待たないて 最近外部に熱を與へんとする無理法 は1、前も是等で充満しないプラオンギン・ ケンゴールによる治療が極めて低 族に清む理由は効力根本的にして 厳に清む理由は効力根本的にして がに清を理由は効力根本的にして 大道+日本實際外文會以, 樂天, 深 本 樂 級 10 日東 製 藤 合 名 曹 社 接替東京三一九四三零 本 製 藤 合 名 曹 社

臨床大家實驗推獎

吸入剤の主剤としてカンフルの卓効あるは専界公知の 高のメデチンカンフルの卓効あるは専界公知の 高のメデチンカンフル没厚 吸入含嗽に最も卓効ある帝 吸入含嗽に最も卓効ある帝 吸入含嗽に最も卓効ある帝 である本剤は野巣別にして か溶液の合理的柴剤にして の本剤は吸入・約二倍・含 で以て治療費至廉なり 含味にも特効あり 音·雅代京都 店商都三元邊田

京都帝国大学・後藤博士創製

寿 慶 樓

店商由藤伊設 元豐 没 店商郎三元邊田 葉素 店理代東議 (三大大一東東警報) 写本基標本日本東京

90 1000# 7 250 280# 7 500 5000# 7 500 5 x 100 7 2 25 365% 7 5.50 280% 7 11.00 9995 # 1000% 7 80.00 無代送星新曲 山口師者結核療養法

服

講義(こし)文學体士石仙童より) 聖典 講義

岡本修助

京より)ラデオ機様

项(JOOKCK)

ケンゴールの外に望み難し 無力內服藥・粉末坐藥の難點

に淋舞の治療法中機部直接療法の理想は

特色は兹に於ても断然勝利を占

文施送星 **管公私立大师院副经**

建設的 建設 基础 多 2 肺糖粒 脊椎なりエフ

結核治療界に結核薬と育するもの、種々群在 1 である 1 である 1 である 1 である 1 である 2 である 3 である 4 である 4

商 由 慶 可修進数大

治療費の

經濟化

浦鹽積今年度特產

世七萬趣に達せん

窓院脈像の誤解を得て明確には映監局を形態中であるが近く日本概

昨年より五萬五千瓲増

なった

金額にして三百五十萬圓

は驚場削給以來のレコードを示。高九千二百十八圓餘の増加で數。

地域すれば四千八百六十八貫、

月七十一萬五千餘貫、四十

南七千百四十二圓餘

にない響流で一層市場では一般に入荷

白萬貫突破

十一月中大連魚市場取引高

創設以來の記錄

送されたものは約十五萬地で送されたものは約十五萬地で

電に伴ひ奥地酸人の直接電出し傾に 地加し市深に上颌より下颌へジリ 上げの歩調を辿り人領手整くエピ は入衛離準で前年同月に比し線二 人の電響みで診合騒響に衛騰され

ロン輸出組合では十三日午後三時【大阪十四日養園通】日本条集サ

的態度を決す

にも統制を要望

仲立人店舗に

馬楼業者を收容し

家畜診斷所も設置

新装成つた家畜市場

◆白米(單位叭入)仁川(袋)二 一〇、同(叭)三二八、撫順一七 五五九五、網原一二〇一六、安東 五五九五、郷嶺三二一〇、 整口 一六九八、季天六四〇、松樹一 五〇、新京一〇〇、 遼陽五九、 十里臺二、合計四一四六三◆白

線は東行貨物をこって吸収す

間に溢出する特産も取上機から林舎線で伸びて奥

◇現物

100大引

水越株式店大連教館里六六

北浦特麗が東行するのも昭和

あたから

五〇四三五〇

時明く、陽、選し去つて夕晩末年度の東行戦戦がやゝ多かつ

統制を協議

ない。 ないまする事でなった。 特別を影響を跳き未順問題を中心 特別を影響を跳き未順問題を中心 を記される。 を記しなれる。 を記される。 をこされる。 をこるれる。 をこる、 をこる。 をこる。 をこる、 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。

を ・ では、 ・ でいる。 ・

残りの四十二ペーセント

するこころ甚大であると見られて

第6約三百五十萬國に達する見込による收益増加鎌想は日本金に換 加豫想は日本金に換えてあるが、これ

、其の主なる無種

地場蝦の豊漁で が十一萬通は振道によらで満洲國 が大豆耕作に適せす長氏は馬鈴 で現在同地方における大豆耕作の最 で現在同地方における大豆耕作の最 で現在同地方における大豆耕作の最 で現在同地方における大豆耕作の最 に現在同地方における大豆耕作の最 に現在同地方における大豆耕作の最 に現在同地方における大豆耕作の最 年同月のそれさ比較すれば五銭九厘で

総される職像上、豪音診師所を設めておいる職像上、豪音診師所を設めて、山羊及様の上、東京・航学、山羊及様

水場金額は却て増加した、之な前 比較增減 者並に需要者の便益を酬ることと 構造な建て、生産者の神益を確要 で、生産者の神益を確要 が、生産者の神益を確要 け、機査に合格したもの、みな人に無機製者十一名な柔く敬容しれた馬機製者十一名な柔く敬容しれた馬機製者十一名な柔く敬容して市場で立人に確定財明の惨冷な (所義文) 海城四七七五、歪頭山(所義文) 海城四七七五、流頭山四五一一、開原二八二八、撫順二四七二、松樹二四四七、石橋至一七五〇、北河一一六二、登東子六九二、杏樹屯三七四、管理二六〇、九泰三五〇、石河四五、夾心子三三

市

况(十七日)

三萬五千枝一四五千枝一四五十一〇三萬五千枝

産

大連民政署成 今日まで富 大連民政署成 今日まで富 田地方課長談 公認の家畜 場合所に獨立こて家畜の仲介人が各等に馬楼業者さいふ仲介人が各等に馬楼業者さいふ仲介人が各省とてゐた為の宗畜の愛質價格 し一般には公示されず仲介人の てゐるさ云ふ有線であつたので

高粱暴落

散弱を呈じ高梁は資物緩出 軟調を示じ豆粕、豆油は人 定期は大豆は在庫高剰増を

二九九九歳を増加である。また市 二九九九歳を増加である。また市 一二九九九歳を増加である。また市 たいまに 一五 一二九九歳を増加である。また市 世紀 一五 一二九九歳を増加である。また市 世紀 大田 一五 一二九九歳を増加である。また市 世紀 大田 一五 一二九九歳を増加である。また市 世紀 大田 一五 一二九九歳を増加である。また市 世紀 大田 一五 一二九九歳を増加していました。 ◆白米へ队)起業食庫二八七一、 「本」の七八、南浦八六、合計 一四七二◆稿(袋)小調子倉庫二 四七二◆稿(袋)小調子倉庫二 四大ス、起業一三六八、合計二 八三六 賣物籟田に

で昨年国際に比ら自然三四一七八 機三八三六数各増加、前月に比し 財然二二三四八、機三四八六数各 増加である、輸出自然は潜島化院

(教訓)單位厘 110 四140 四140 1110 四140 四140 1110 四140 四140 1110 四140 四170 1110 回140 四170 1110 回170 四170 1110 回170 四170 1110 四170 四170 1110 回170 回170 1110 回170 回170 1110 回170 回170 1110 1110 回170

銀對洋 金對洋

本の緩和策さして第の報刊 本の緩和策さして第の報刊 本の緩和策さして第の報刊 を表示するのは から本の展示を表示を が会表において時間を をのいる見透しのきかの通常 で表示を が会東京短期は寄付 を見せたが、引際東新一個四 を見せたが、引いるを は、 は、 に変込み、 日本同事を と言言と に変して を記述を にったる を を にったる を にった。 にっ

阪神酸松の出動。 を変えて

態で脱率し **販職版を呈した、十**の為取引も見送りの

を 度入相が動動と出産物に後の状態に 動画の引きを密観するのは、九月には 機・動き、田屋のため、東京の対域に が、大豆丸月以降・大・大田ので観察 が、大豆丸月以降・大田の対域に で変換が、大田ので観察 が、大豆丸月以降・大田の対域に で変換が、大田ので観察 が、本に響く変換を放射 の大豆丸月以降・大田の対域に で変換を が、大田ので観察 が、大田ので、大田ので観察 が、大田ので、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 で変換が、大田ので、 ですべき事態で変換を が、こことは注目で、 でする。 できない、 できない、 できない。 で 一月には更に出租別の職保から助び切れねこささへ撃根され、

海為替情報

十七日二部『室

町

B

0

一年相場(計 九七六元八 九七六元八 九七六元四 一 等大票额(現的 1 Hing 5) Hing 5 (Hing 5) Hi

(格話『室町』發賣

爲替相場

皮軟 梅毒淋病 今朝永眠仕候間 ・ 東京 駅 儀 間 世 豫 具段而 電阿山郡新屋村に於る存住に護告仕気の魔養生不相思 小島文友





人引取商株建大

活版 期日 迅 石版 速 九 時 11人0 11基0 处0 十一時 11人位 11人0 火光 十一時 11人位 11人0 火光 七時中 11人位 11人0 火光 七時中 11人也 11人0 火光 神戸期米 前場寄前場引 「元久 「限 「元の 「元久 「元久 「元久

◆…こゝにロシアの極東政策に概 本能の惱みがある。 本能の惱みがある。

地株弱含み

状を辿った 状を辿った 北濱定期前場は大株二十銭高、郷新七十銭高、電析さしまり、 経高に電付きしも引際東新一個四 十銭方下押し日産保合、當市は東 が西硬を移し地株は閑散弱含み商 状を辿った

古三十六個

風松野 二十六圓五十錢位 化尾角 市店

イヤ、時計、貴金國、 羊班城、

質屋のお利用は第九博ラ **貸出勉强** 保管確實

皆 貸出思ひ切り音

央卸資市場改築に関する件

された観は暗和

北浦特盛で瀧

七萬題に達する





大連信 為十七價正一合 十 和品品上)

市内無料配達

一も申職みの規能に置かれたが、洲麓中ドイツの大豆酔遊繁の気

(駅では絶えず神宗艦を出す歴況を がため、近海方面に於ける輸入脈が がはない。

正のであった、続しながら一 を表す神術能を出す歴況を たのであった、続しながら一 を表す神術能を出す歴況を たのであった、続しながら一 を表す神術能を出す歴況を た以降は飛ぎ不勢の影響に在って がしたのであった、続しながら一 変形率は低寒酸形の響に振移する が を見れなかった。 を見れなかった。 を見れなかった。 を見れなかった。 を見れなかった。 を見れなかった。 を見いるを表現である。 を見いるを表現である。 を見いるを表現である。 を見いるを表現である。 を見いるを表現である。 を見いるを表現である。 を見いると、 をしいると、 をしいると が に 新物を述べた 医神、権害方能行政 に 新物を述べた 医神、権害方能行政 に 新物を述べた 医神、権害方能行政 に 新物を述べた 医神、権害方能行

野用品、総称布、維貨線、 を総改して遊販し、各種産 を総改して新美国に相應 を記述して遊販し、各種産

船腹過多の

近海方面

(上)界運海 輸入旺盛に反し 特產物運賃不振

(29)

推移こしからであったが

るなご近海運動の先離見動して、

瀬く引締りの何

なかつた

(日曜火)

清津兩港に

エピは秋識さして様なる豊識で前の地に機能成鬼懇談艦の目覚ました。後にも治臓により脱脱を纏めれた。後に たる昨年十二 滿洲國稅關

職逃せ こめ北鮮經由滿洲國への入 にあり、加ふるに事務繁維なる職線の完成は北鮮護港の野滿豆島な の耙賣を支出するの已むなき狀態線の完成は北鮮護港の野滿豆島な の耙賣を支出するの已むなき状態

て弾車を停車せしめてゐる、これ 如上の酸線は増加する為め滿洲画とける職権の一途を辿り闘門に 第一颗繁潔部載の完成により更にこれが通販の為に概で配門におい 第一颗繁潔部載の完成により更には経速液の一途を辿り闘門に (殊に昭和十三年度には経速液の がである。これ 如上の酸線は増加する為め滿洲画

明春設置の豫定

移出入白米

年末聊に入つたのさて 電 沈を室 機の転量は左の如く新数出棚りさ 並に籾の數量

十一月中大連 大連市の中央卸資市場改善委員會 中央卸賣市日 中央卸賣市日 八日午後開催

場

麻袋弱保合

糸布啶

本朝鮮物 △氷タイニロ九○一五、七〇一四○△タコニ○一、 三△サバー○一五〈アジー七一 八△小イカ三○一二○△アナゴ 八△小イカ三○一二○△アナゴ 「五一一五△キスゴニ五ー一五 ペイリタコニ五ー ・100ペフグニ五ー ● 1°25枚 3°7~001回 ● 1°25枚 3°7~001回 ● 1°25枚 3°7~001回

集券 (場広西)五三通西市達大

七五話堂

州醫院 電話けの大

開始

七六七四番

西広場 但馬町の 是非とも御利用願ます

大連市愛宕里・

東部七八六七十十二元 1

0 床

충

はっ

【浪速町所見】

のが、参加者の心得を鼓に

に説法の識を見れぬかも知れ

の態度を保持することは一立戦情になる心臓の診断を誘ひ、池を流れ

猛獣狩の心得を鋭く

全

北の脳各自の最も細心の注意な保

の」てふ覺悟が安全第一を疑問されセーフは外を

ーツマン

も笑つて

職態で奉天&市は自一似に残られ 【参天電話】十七日朝は前夜來の

奉天の降雪

一三日午前十時四十分飛 のる意気及び各無無い間 のる意気及び各無無い間 のる意気及び各無無い間 で代表して治安の低に

3

○「安全第一」

を見ずの響への如く、

でいるのは母の節数でに於て、野犬の歌戦に於 では、野犬の歌戦に於 に於て、野犬の歌戦に於 に於て、野犬の歌戦に於 に於て、野犬の歌戦に於

会に使っては明年度に接続される たか、助調べに関頭を除するため たが、助調べに関頭を除するため では、取調がに関頭を除ってあっ

結審遅れん

(日曜火)

日

が、去る十一月二十七日幽門憲兵官公書の蝦ッ等の計畫のりさて宿

附属することなり

部記事を飛続した

東さ感激の野面をなる、特軍は往一放人の遭見律子さんが投脱姿で勝った。

滿洲國

々歌を

カナ

ダからも

照會の手紙來る

い」さカナダの輸用公使を通びゲーに国歌がある由是非知らして欲し

画們排日會の責任者全光動ら

憲兵隊に捕はる

期中の監時の銃殺指揮官シワン権たた戦事機低六線士の一と権えた戦事機低六線士の一

六日午後一時際間市

職験機械脱にない惨性さなつた五

痘飢

港

きのふ事北で

及日不逞鮮人共匪

きのふ初の準備協議會で 倍

指式すに來る二十日限り参加申込を締に倍加する狀態となっただめ、來を世五日 り古林街東部の密林地帯に於いて 到して早くも定員

團長に長谷部少將

切ること」なった、関より希望者全部の影加が出来に

統制上最適任の勇將 るから、郷軍を順量さすることは、
版が役を行つた男術であり、同品版が役を行つた男術であり、同品版が役を行った男術であり、同品版が役を対して

遺憾ながら像定を撃めて申込をど切るわけであるが、満洲に於いて続続及いふべき此の能もの態存に貫遠感なうな難する上に於いて未続及いふべき此の能もの態存に貫遠感なうな難する上に於いて未続さもば、それに越したことはないのであるが、満洲に於いて最初さも

げ べき戦手の伸び方ないふべきで展の要戦を帯びてぬた事は戦闘す 及川 篠原部隊

さすが。孝子墓

陳情から移轉は打切り

美しく生れかはる

既にノギ子をノさして世族人心にしてもさうした連名諸頼らあり、

貴地檢證 夫人殺しの を製像が重づて販売したンドカーは無事に、 別様され満人有機能へごは繊維に

御贈答用

さして嚴選さ

あつたので、この際

外觀

犯人は平線で手道似、足道似で飲場面を食場について聴取したが、

締切世

日

阿久津、中西、長崎各部隊滿期兵 数回避」瀧○原語下海、 鐵原聯部隊第二次滿聯

新年特別放送

七日教園通】落〇團 滿期兵歸還 大同劇場南方の大同大街姉珠都寄 してゐる新京の國都地談

事に一寸因無細の都市能量の邪難にない、対のも無細しない、苦ガル脚ましてい、苦ガル脚ましてい、苦ガル脚までは、素をの量では、大きのを変しない、苦ガル脚までは、大きのをできる。

まり理的局でも触らの軸に崇

した地で行って本問題の解決を書

荷馬夫の墜死

件の謎解かる

職人口百萬を包容して

シ将軍と劇的對面

律子さん

思ひは同じ銃殺指揮官

中で苦悶し枕元

単式な明ちた。

圖寧線の

慰靈

が倒しみ都屋なのぞくと

作戦な有利にするた マの中に讃称めつて頭山流動より日鷹の後が頭鬼栗の 子さんの肩に手をかけ、馴能シーとの場に手をかけ、馴能シーとの場に手をかけ、刺能シーとの場に手をかけ、刺じるとのでは、

立波縁局之助方山

竹織は尉之助の鍬で、瀬里の中駿 (単に獣を暴 た結果。生命は取止める模様である たので、十 るのな養見直に臀髄の手篙な受け リカフエー 不意見もたさころ極度に 一六日朝秋火がその心心 一次日朝秋火がその心心 職で勝返ってゐる。

を記事ば自然自動さな の手な伸ばしたが脱は である。各 るヤ ク 所持金全部をカード階級に寄附して

末同情

漢中に横はつてるた浦人様死

を大概型に発表して激天 大概型に発表して激天 大概型に発表して激天 大概型に発表して激天 大概型に発表して激天 大概型に発表して激天 を観し、同夜は最か際重して時代のようにかが秋が宛の漫響には 毎の中うなヤクザな男が生き のから縄でな清算します。所 自から縄でな清算します。所 自かられても世の気がになりませら

での意味が振ってあり、全く既他

ザの服毒

弊井達也氏



商店協會主惟一千國景品付

し十六日午後七時

始末

の御贈答品揃

村にて死去した 西田氏服父 第十倉城區

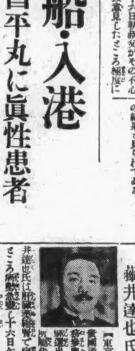
6 0 ての時

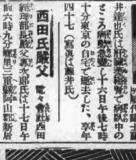
農務司長

皇軍を慰問

個げたがサア地らない、この地域に勝引が出たが敷が勝軍の さめつたので「ハテ何んどやら う?」さ版石の明朗勝軍の は外でで、ハテ何んどやら で、ファイのでは、一般行の金庫/

り撒である、微へば自己一人がスークは、他人の迷惑と思いな嫌なから 分京師総彩平家職に於いて貨物車





三時半頃から止みま

な動間する苦

にから寒さか硬くさ思いたち寒さか硬くさ思いたが、 で情分寒は呼らないれて情分寒は呼らない。 では今朝から晴れまし



・の推破

い希認がつながれてゐるが、

能では早渡流洲圏を動の のた、関に満洲圏を動い のとないふこまである



他人の快殿を倒けれやう、いやがであり、自己の苦痛へ満た逆却し ので一周またもざつき美い崩れ る」さいふ演奏であるがそこは 明誠教室、アッチリを兜を脱い 明本であるがそこは 明本であるがそこは 高級家具の

上にも柳土道を守りたいもので他人の快殿を傷けぬやう、いやが

れは世層遺迹悠々自



考慮も弊店設計部の研究に成る朝

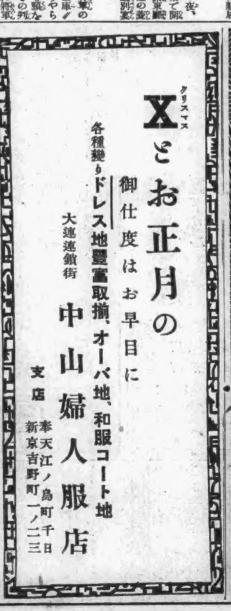
機の御用は無料にて御相談に廊ど

(歯は室内装飾及び家具の設計見

●掘ない「これ」「服務係の方に 大連要価値の丁目大馬屋船店 が用ない。
大馬屋船店
大馬屋船店
ではりょう 滿洲日報(廣告部)番話四四九一電

新かつ合理的なる新製家具多種取合せ時列致して居ります

大連 興田時計



おこととのようない (50十十年) の大井への一大田人 但と著音器、写真機には組合规定にて参進星御客飲十五日より併せて日の丸調旗脳引附特別費出と一千 圓景品 附 歳 暮 大 寶 出し中 蓄 音 器 瓶

置時計

腕時計

寶石函 止

品揃

御進物品の御用は 絶對に御信賴の出來る浪華洋行の商品 品

す浪華洋行へ仰付けの程 願ひ上げます用は 良く 安く 豊富を信條ごして居りま奉仕に萬全を期して居ります 御進物品の御蔵末に際しあらゆる點に御滿足を戴けます様

願ひ上げます

特等 金壹千圓景品附賣出し 開催中 浪華洋行へ のこ時き及ぶ。此の機能の意味が「最な事を解すが、凡て機器は多

一手與黃元

友田合資

ミシ保

印書

120

アマ

青印

能也八五九番 配七八五九番

大連市大山通 大連市大山通

油内電八六七五番

製造完 片 岡 椛 店 製造完 片 岡 椛 店

賣

貸衣 表

1

粗

モミ

良

品品

映画寫內

心道八五 三共商**會** に良く効削試あれ の出現

出されて手に取つて見てぬた

でない立ち合力をごふさきに極いれている。百月送師

御者に答明いたした。これは能学

光見の明か

れな神田家の菩提所芝藤輪の東京を主職ひにかいるであらうさ、

て自分の一

味に引入れやうさ苦心

手門 販大

賣家

元實 よ験

り報

進告

呈集

熊澤は成るべく正常に合

続るに正常は一層態深に接近し

見て熊澤殿の風流人なるこの発悟に記せら流解さ云い

受けたが、正宗は得がたき

と言つたが、正雪は琵琶を贈ら

の返禮に正宗の一刀な熊澤

當なり

豫防的に用ひて最も適初期の疑ひある患者に

して好許を博してゐます。 本に導く點搏疾自宅療法の完成と 本部に秦燮を輸集し、病因的に治 本部に秦燮を輸集し、病因的に治 がは、病因のに治

大連市吉野

防一

者である。此のやうな物を帯びて

十五瓦入 一円 西 五 (約二十日乃至三十日香)

、無機(あなぢ)、その他)、機能(されぢ)、発信(されぢ)、ない。

下宿

根本獨局這七八六二

强力治林新藥

第二日本座歌大廣間を開放、洋食には階下ホールか任出でに依る御には階下ホールか任出でに依る御がます。

地方薬局直送

神利格諾賓 Torigonopin 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三側五十段 素質(大十原三)

下宿 家族的に待遇

脱海も大いに是には膨胀した。

結核新藥さし

て

不用

早川協科院大連市西疆九三常鮮順附近

高木質店

響さは異りなる。王昭君はこれいたしたが、それが龍で用ひる

申して、年來秘収のてこれは其

和歌では幾りしここを演解さ云ふめに崩れ、その變りし事を申す、

を動物である。東市の心中な察じ申せ を動力である。東市の心中な察じ申せ である。東市の心中な察じ申せ である。東市の心中な察じ申せ

の。王昭君にその形を働き、整作 あ形ないたした樂器かそれを知ら を題めるために発養を造らせた。

答

炎 炎 兒 核

(120)

「それは存じて居ります。如つて上ありませんが、馬に乗ってかい

「御不能御だる、

然し多くの武者

東京帝國大學教授

★下山順一郎氏]創製 ### ★高橋順太郎氏]協力

豫 大病院を始め権威ある各方面に雙用さざる如し、然るにフアゴールのみは繋ざる如し、然るにフアゴールのみは繋ざる如し、然るにファゴールのみは繋がる場合である。 コール 及 メチレーン 剤と異なり、その成分は主フアゴールは單なる榮養 ールが依然として代表的結核新義の名規しつゝあるに外ならず、之れフアゴ 架養期のみにては裏効充分ならず、 れつゝあるは肺結核の治臓と酸防には 演リファゴールを最適とす

一、地下室付賃六〇 電六六五任宅 上八、六、下支網、熊捷、熊建、

海產物問屋

殺菌に著効あり

その成分は主

九一八多田商會

電話二二三六一番 電話二二三六一番

議局な子供、劇務の方にお映め致 天赋の滋養強壯側です。病局の人 評判の小松家の「まむし」

食其の他家畜類診察 が表示なパー狂犬病

石井家畜病院

六六六三大連案內<u>計</u> 新闻參錢株式現物店 復興公僧寶買並金融

呼吸器障害に

十代田生命保險相互會社代理店 明 鮮火 災 澤上保險會社代理店

旅順商店案內

佐々木洋行

雙間

二階順附

賞

電話

金金融品

性皮 坂本醫院 李醫院 李醫院

不二ヶイブ原紙 高級事務用品

英室 策金町一六〇

洋家 物音町二温

話話

整四月 X 光線應用

田 行 正 (電車向陽門前下)

新京大

電話

前田校子門 時間大学門

家

大連家**畜醫院**

にんにく療法 新發見・痔疾。 にんにく療法

邦文 大連市大

古着 日陸町を前 料料他

B 医院·治療·名薬 B

3

電五四三九番

看護婦派遣 所宿宗備 派遣多忙會員至急募集 大連西部看護婦會主 大連市下秩町十五番地(衛研費)

女給 数名募集 少女 食堂接待会 加茂川町二 女給 準鎖貨 女中 本談 水川、

ル五階十號 碇 山 薬布 喇の 包紙 七組各種 蕃音 白帆・天帆高級御化粧紙は 電話は 愛店 第三二七三

沿店 電二二六一二番 三二六十五銭より

MI

家政婦會温藤 宋政婦 察而然回 河面 45 四公蘭町五七 河公園 45 四公蘭町五七 京八郎 40 阿公蘭町五七 政

婦 事 4

電気 舶来オスラム 英斯入健 電気 舶来オスラム 英斯入健 では、 前来 カステレギー 電球 東波町 山・形 洋 行 東波町 山・形 洋 行 クリーニング商會

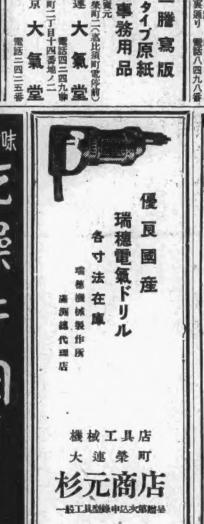
仕立京吳服卸

痔性 病科 X外 切光 近新線









新しい化粧品 化粧品は 品 マイスキン、ホワイトション、ラルーナ、アション、ラルーナ、ア 6 大連市但馬町六番地 八井栗局 ニーローション お野、奇 妙 水

隨意 入院 国事咽喉科目 醫學博士 森本粹之大連市大山通三越降了 電話五三七0 3 医疗院 助



三日本海野時敦智

三 朝鮮郵船 出版 三 日本郵船

2 島谷汽船 路出帆

代理 山下汽船支店 電話三公番 演员情演行上等三十副並等十七副 海水、核機者 十二月廿七日 高峰丸(核機者 十二月廿七日 高峰丸(核機者 十二月廿七日 月 五 日 東港丸(核機者 十二月廿七日

13 大阪商船出帜